サンクテラスRタイプ　下止めタイプ　取付説明書

※□内は、ロットNo.表示位置を示します。

■施工される方へのお願い

●施工は専門業者が行なってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
●取扱い説明書は、必ず施主様へお渡しください。
●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

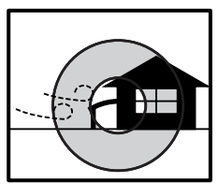
⚠ 注意…取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 注　意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

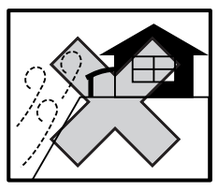
■設置条件

●本製品は一般地域用です。積雪強度は600N/㎡(61.2Kg/㎡)であり、積雪量に換算すると20cm相当です。これを超える積雪の多い地域には取付けないでください。
●本製品は木造住宅の2階以下に取付けられる設計となっております。3階以上の高所には取付けないでください。
●柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。
●母屋の屋根からの雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により製品が破損するおそれがあります。
●風当たりの強いところでは風が抜けなくなりますので、テラスの周囲を囲わないでください。
●崖っぷちなどの高低差のあるところには設置しないでください。



■躯体への固定

●タッピンネジは柱・間柱・胴差し等の構造材に必ず止めてください。躯体位置が分からない場合および躯体が強度保持できない場合は取付けないでください。
●躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施主様と打ち合わせをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
●プラグ類を使用して、モルタル部分だけで固定することは非常に危険ですから絶対に行なわないでください。
●タッピンネジの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。



■部材の固定

●組立てネジ・ボルトは必ず指定のものを使用してください。また、使用中ゆるまないように締め付けてください。

■施工時の足場について

●施工時は必ず足場を設け、転落などの危険がないようにしてください。

■基礎について

●基礎は当社指定寸法以上にしてください。
●海砂は水洗いしたものを使用してください。アルミが腐食するおそれがあります。
●施工前に調査を行ない、地下埋設物（給排水管など）に影響をおよぼさないようにしてください。
●寒冷地では凍上線より下まで柱を埋め込んでください。凍上により浮上するおそれがあります。
●柱を基礎で固定する場合には水抜きできるよう、柱基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内部にたまったの水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
●養生期間は十分（4日～1週間以上）にとり、その間は、重たいものをのせたり、振動を与えたりしないよう指示してください。

■パネルについて

●屋根パネルは当社指定品をご使用ください。
●屋根の取付けは垂木へののみこみが左右均等になるようにしてください。パネルが強風により、飛散するおそれがあります。
●後付けビートのつめは、垂木の凹部に必ず引っかかるように取付けてください。強風等により飛散するおそれがあります。

■施工上について

●みだりに改造・変更をしないでください。
●当社指定の付属品以外は取付けないでください。

※製品腐食のおそれがありますので下記事項を厳守してください。

■絶縁処理

●アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。

※水漏れのおそれがありますので下記事項を厳守してください。

■シーリングについて

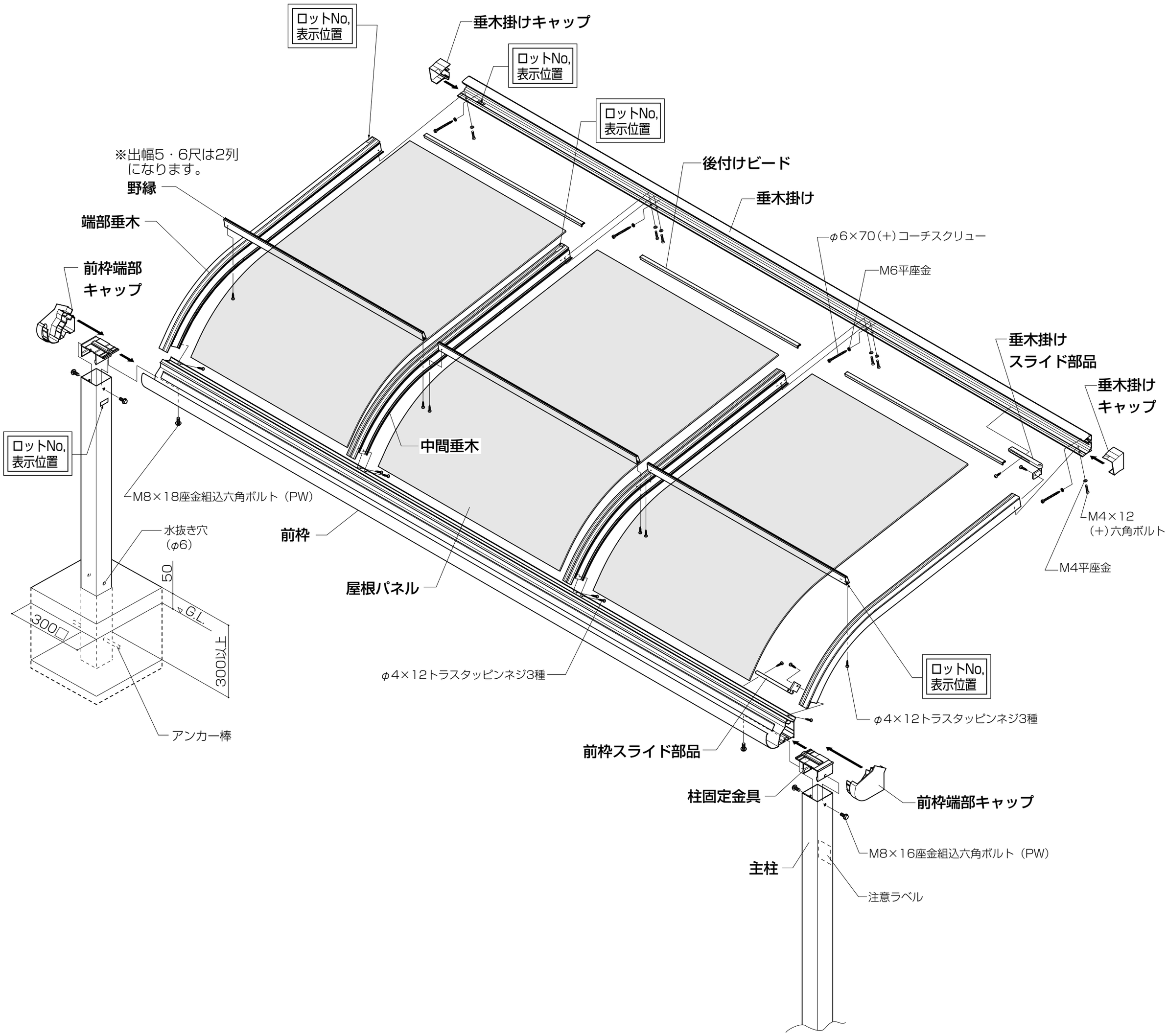
●シーリングは指定個所に必ず行なってください。
●外壁の上から部材を取付ける場合は、シーリング材を下穴に充てんしてからネジ止めしてください。

■施工上のお願い

●水平・垂直は正確に出してください。施工に支障がでるおそれがあります。

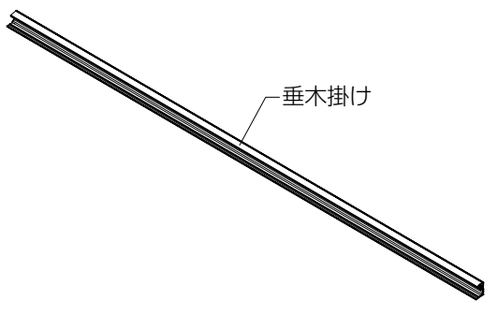
■構造説明図

※図は、間口1.5間　出幅4尺を示します。



■取付け手順

1 垂木掛けの固定



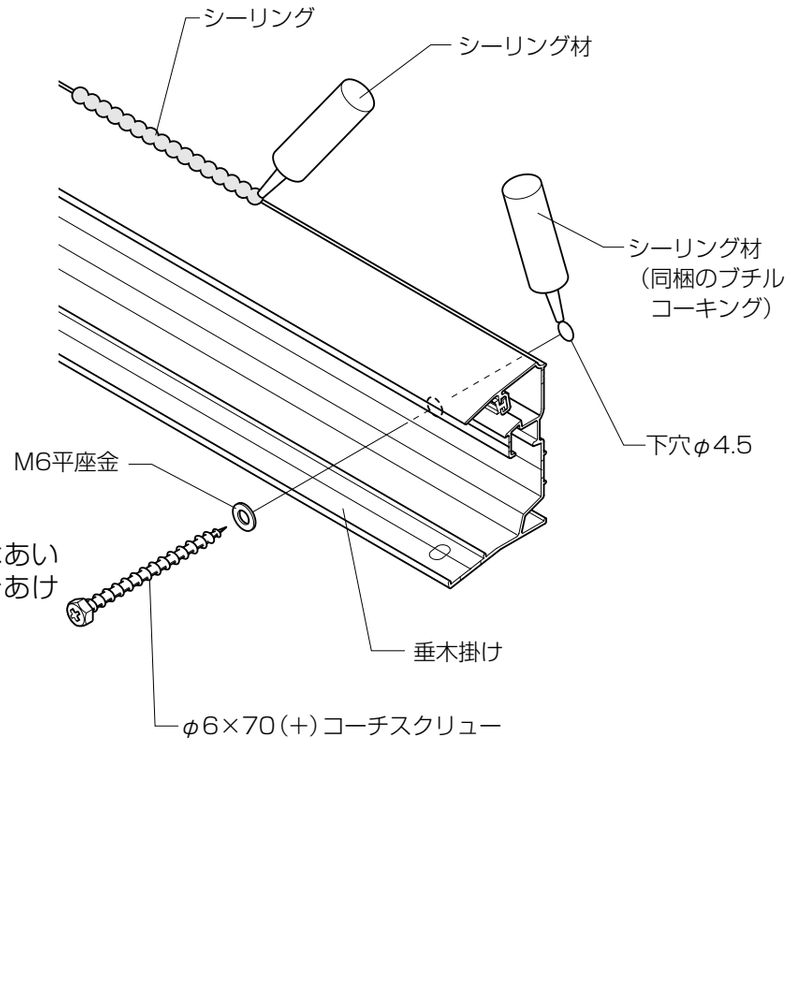
■取付け詳細

1 垂木掛けの固定

①垂木掛けを躯体に取付ける際、必ず水準器で水平を出してください。

⚠ 注　意

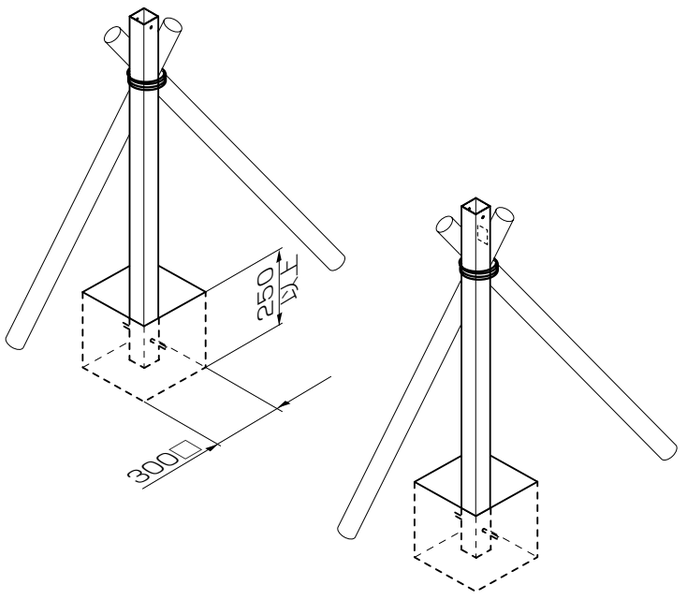
- ●垂木掛けは必ず躯体の柱・間柱などの構造材に取付けてください。
- ●躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施主様と打ち合わせをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
- ●指定の個所に必ずシーリングしてください。



【関西間・九州四国間の場合】

関西間・九州四国間の場合、垂木掛けに躯体取付け用の穴はあいていません。柱および間柱の位置に合わせて、φ6.5の穴をあけてください。

2 柱の取付け



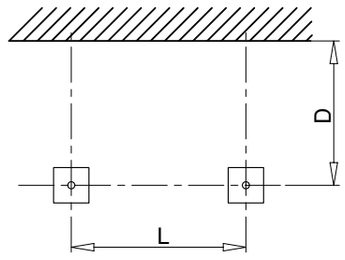
2 柱の位置決め

＜柱を基礎で固定する場合＞

※注意ラベルが必ず内側にくるように設置してください。

①柱埋込み位置を出し、基礎穴を掘ります。柱の位置は右図と10Pの納まり図を参考に決めてください。

②柱が倒れないように仮固定してください。



＜柱を造り付けバルコニーに固定する場合＞

※注意ラベルが必ず内側にくるように設置してください。

①柱の下部に柱キャップを図のように取付けてください。

②部品の取付け

躯体に柱壁付用固定部品を取付けます。

⚠ 注　意

●柱壁付用固定部品は必ず、柱・間柱などの構造材に固定してください。

躯体位置が分からない場合および躯体が強度保持できない場合は取付けないでください。

※固定部品の間は600mm以上あけてください。

③柱の仮止め（垂直出し）

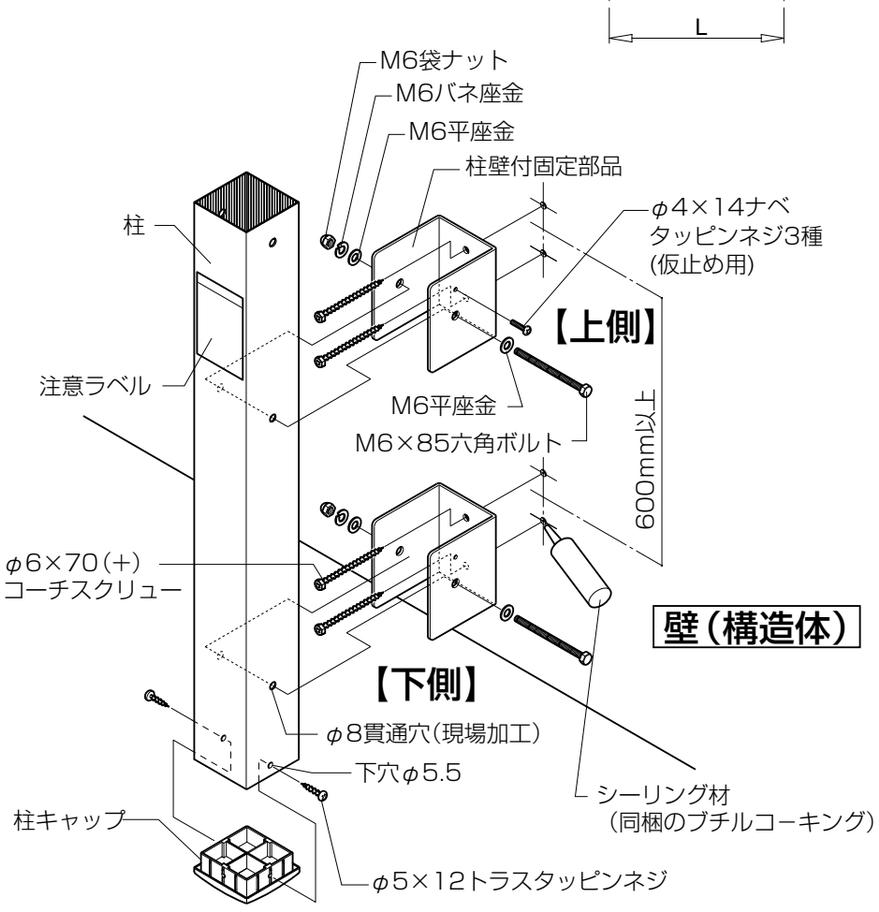
1.柱に上側の部品固定穴をφ8（貫通穴）で加工してください。

2.柱を上側の部品に取付け、垂直を出して、ネジで仮止めします。

④柱の固定

1.下側の部品にあいている穴に合わせ、φ8（貫通穴）をあけます。

2.ボルトで柱を固定します。



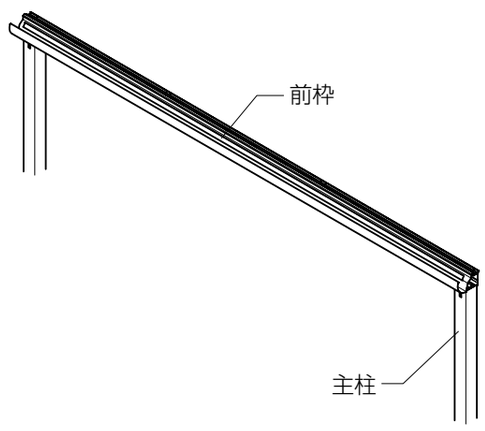
⚠ 注　意

●指定の個所に必ずシーリングしてください。

3 柱-前枠の取付け

①柱固定金具と前枠の固定

②柱固定金具と柱の固定



3 柱-前枠の取付け

①図のように前枠に雨樋部品を取付けてください。

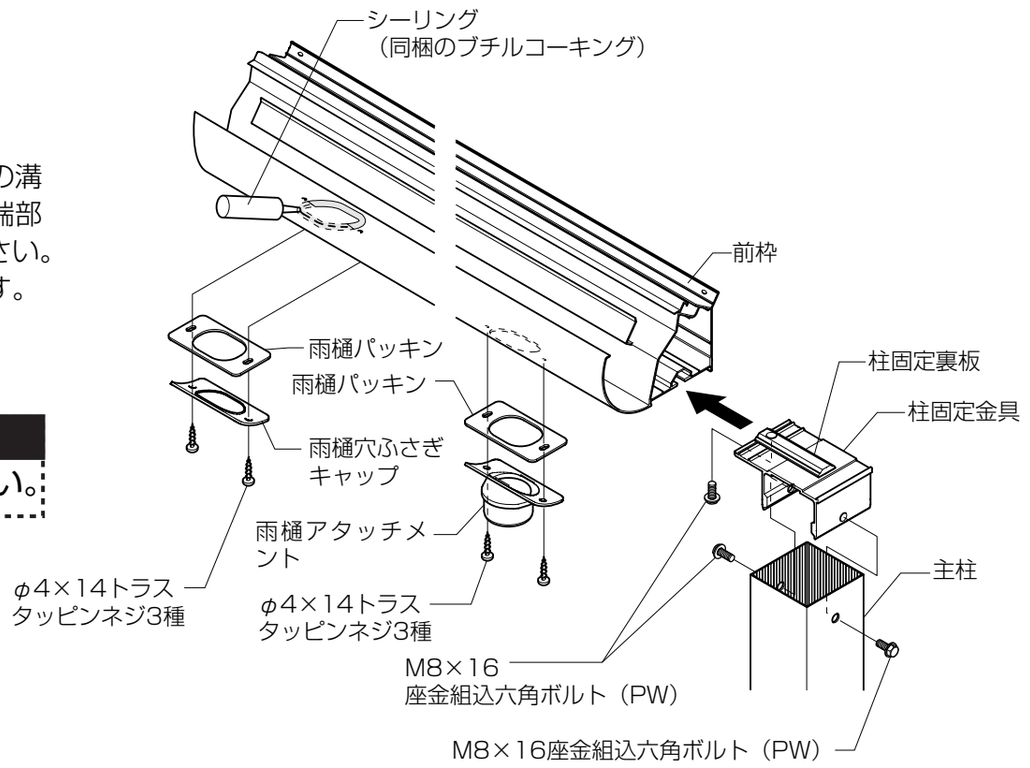
②柱固定金具を柱固定裏板に引っ掛けたまま前枠の溝に挿入し、ボルトで仮固定してください。4の端部垂木を取付けた後、直角を出して固定してください。

※柱固定裏板は柱固定金具にテープ止めしています。

③柱固定金具を柱に差込み、固定してください。

⚠ 注　意

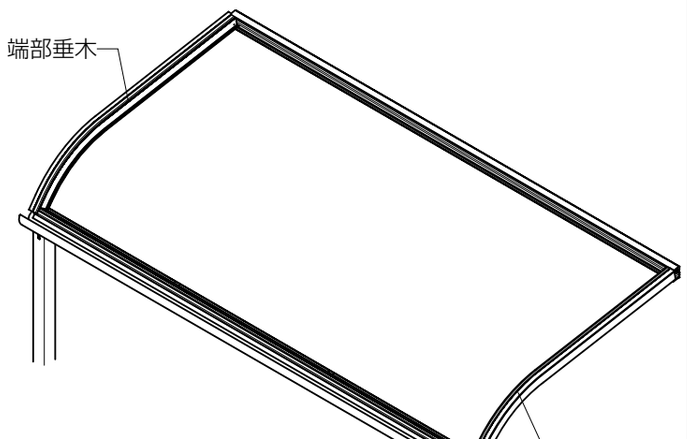
●指定の個所に必ずシーリングしてください。



4 端部垂木の取付け

①端部垂木の取付け

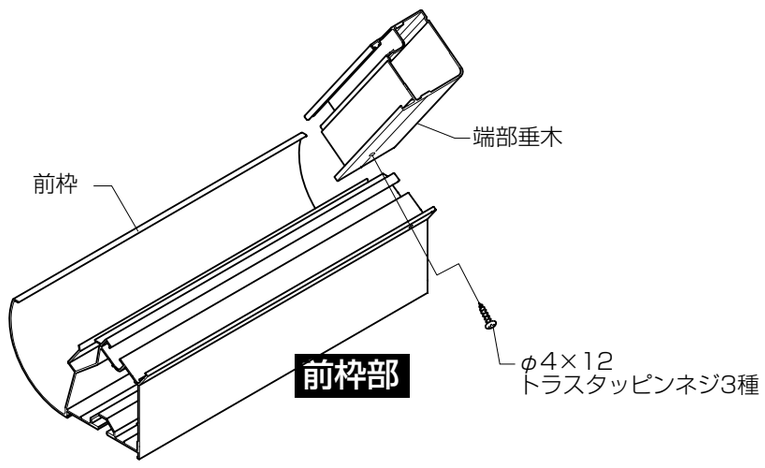
②スライド部品の取付け

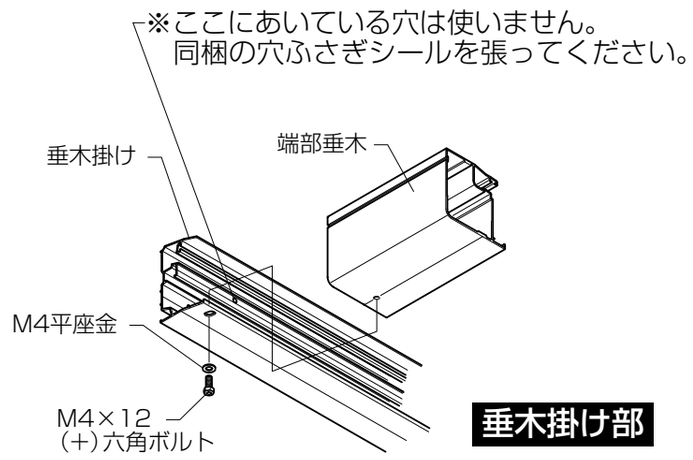


4 端部垂木の取付け

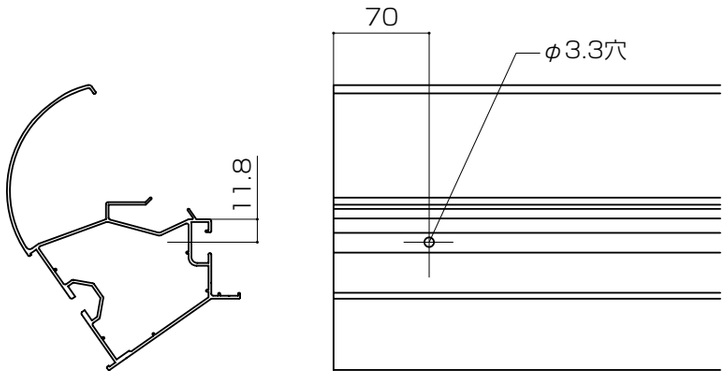
※現場で下止めする方向を決めてください。

①図のように端部垂木を前枠・垂木掛けに取付けてください。

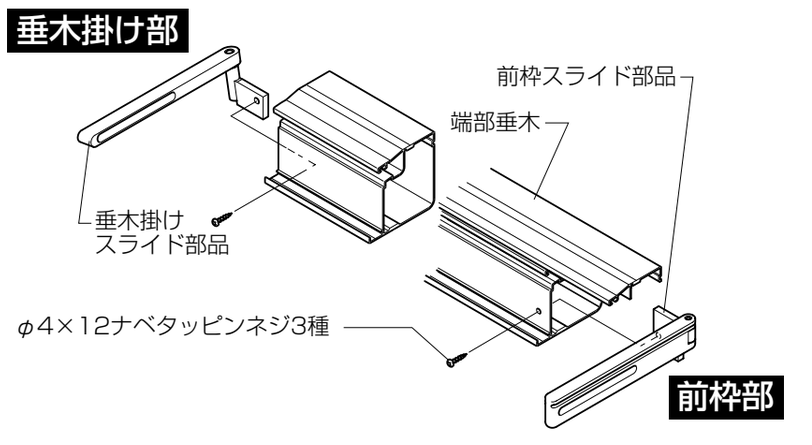




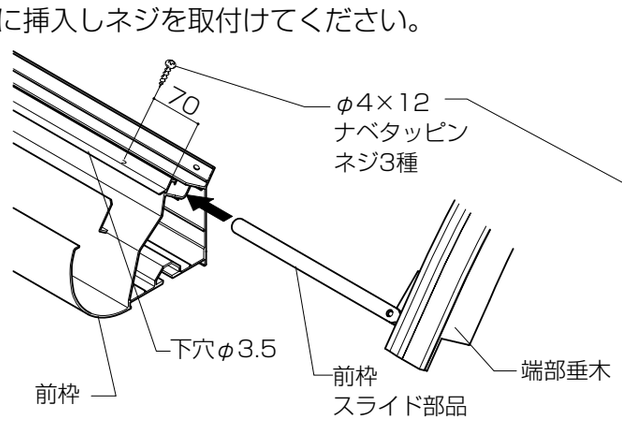
②次に、端部垂木を下止めする側の前枠に穴をあけてください。

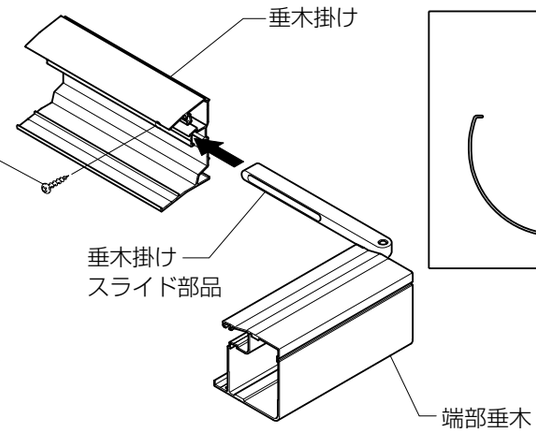


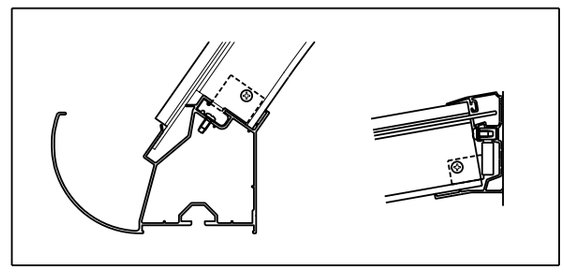
③図のように下止めする側の端部垂木にスライド部品を取付けてください。



④図のようにスライド部品を取り付けた端部垂木を前枠、垂木掛けの溝に挿入しネジを取付けてください。

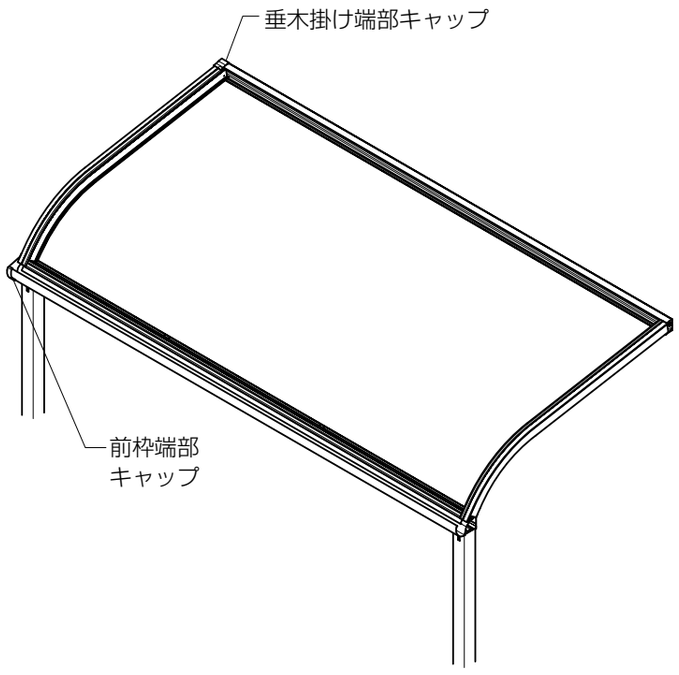






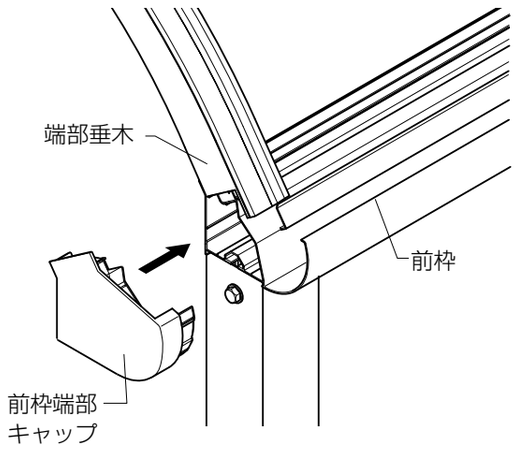
⑤取付け後、本体の水平、垂直を出してください。
※下止め端部垂木は、前枠、垂木掛けに固定しないでください。
※スライド部品は、前枠側、垂木掛け側に必ず固定してください。片側だけの固定は部品に無理な力がかかり、破損するおそれがあります。

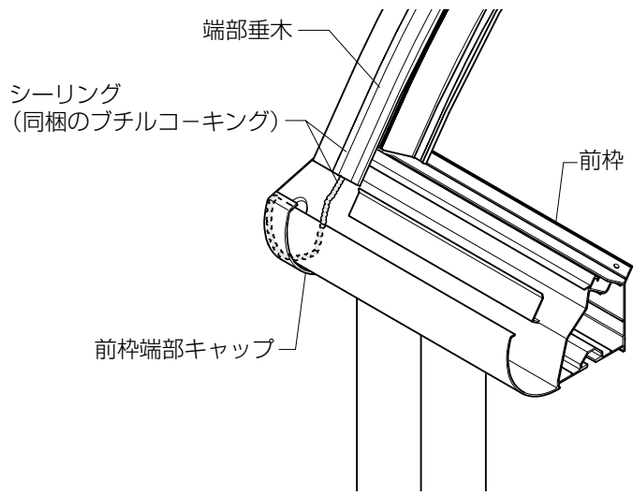
5 キャップの取付け①



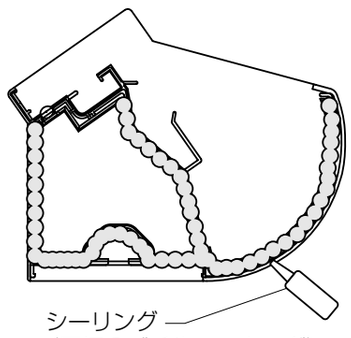
5 キャップの取付け① ※4 「端部垂木の取付け」で端部垂木を取付けした側のみ

①前枠端部キャップに図のようにシーリングした後、前枠に取付け、さらに前枠内部をシーリングしてください。

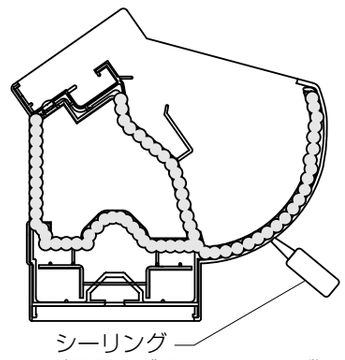




前枠

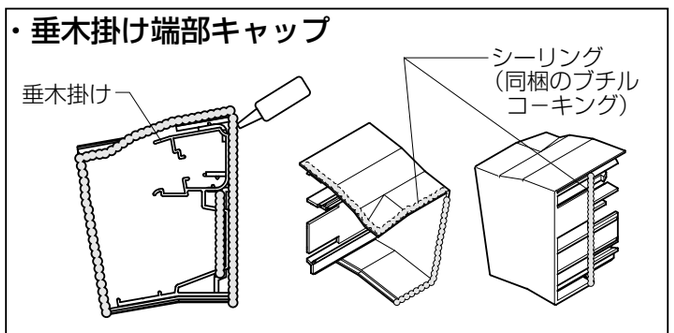


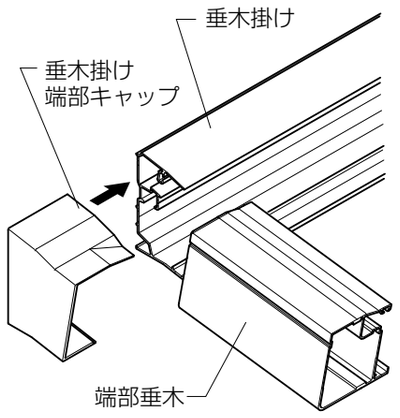
前枠（2.5間通し）

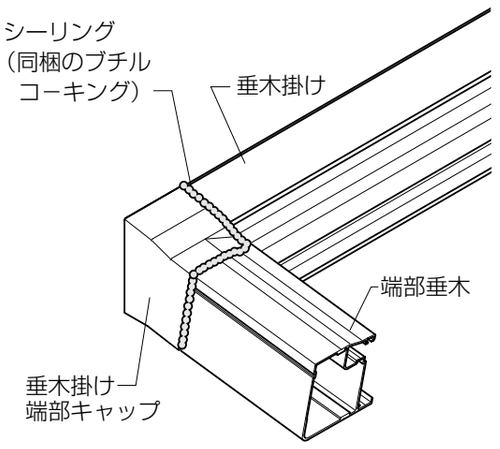


②垂木掛け端部キャップにシーリングした後、キャップを取付けてください。

・垂木掛け端部キャップ



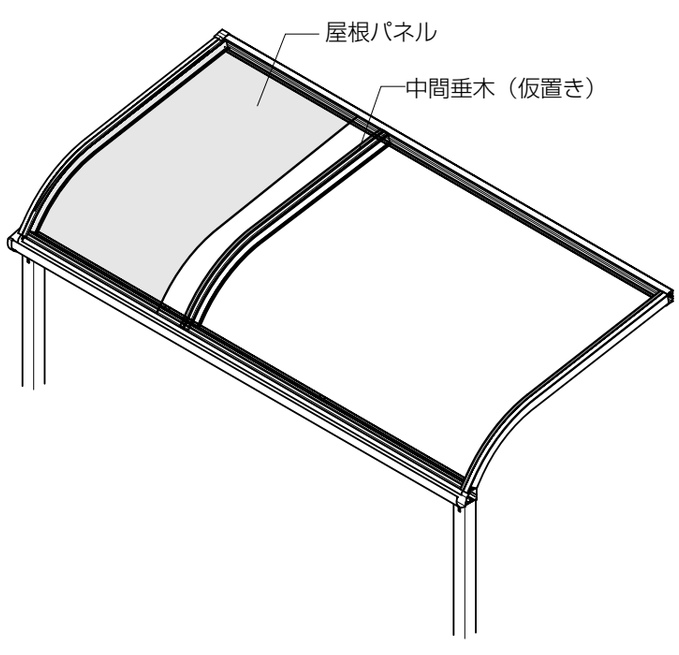




⚠注　意

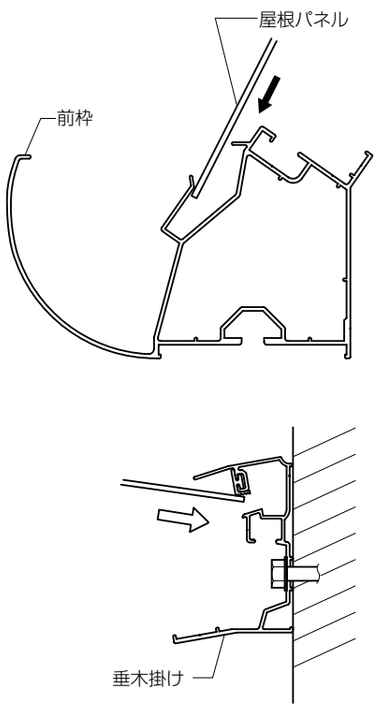
●指定の個所に必ずシーリングしてください。

6 屋根パネルの取付け

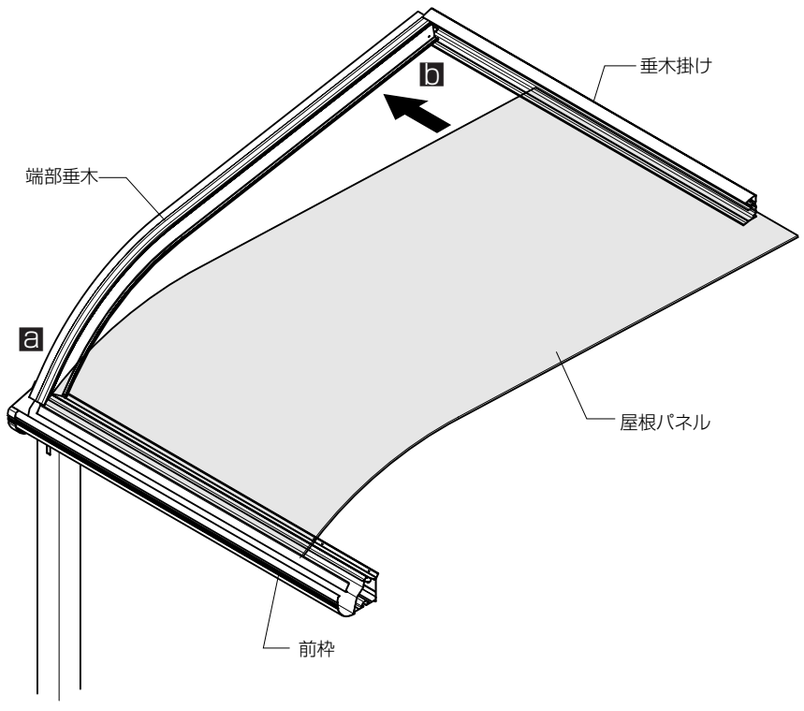


6 屋根パネルの取付け

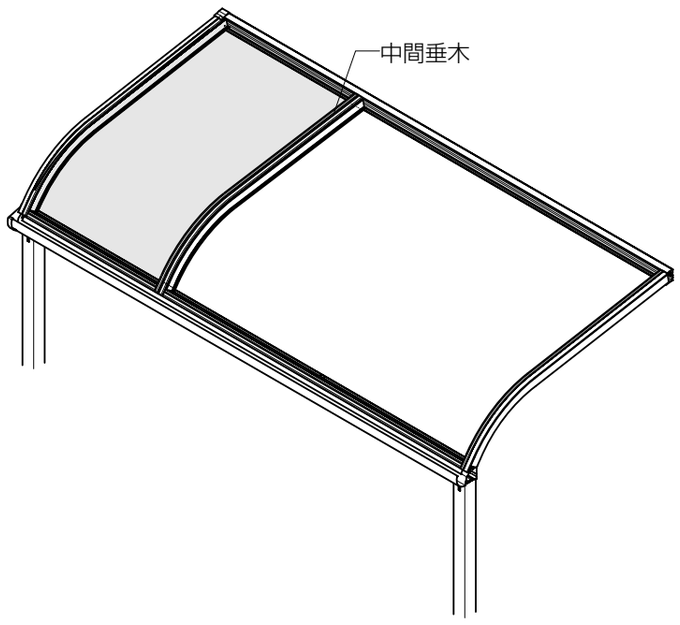
①中間垂木をパネルの側近に仮置きしておきます。



②パネルを図のように前枠と垂木の接合部（a部）から挿入し、垂木掛け側へ（b部）へ順に入れてください。



7 中間垂木の取付け

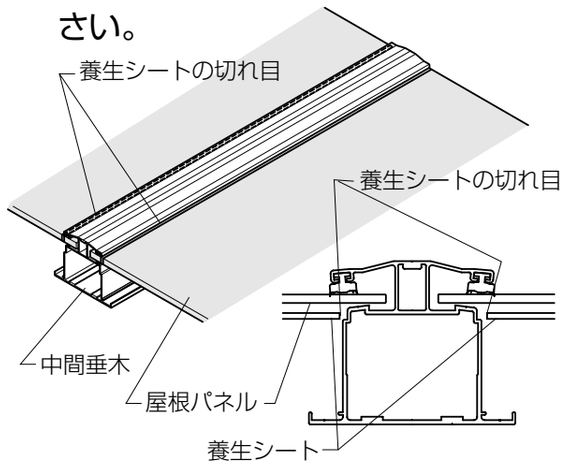


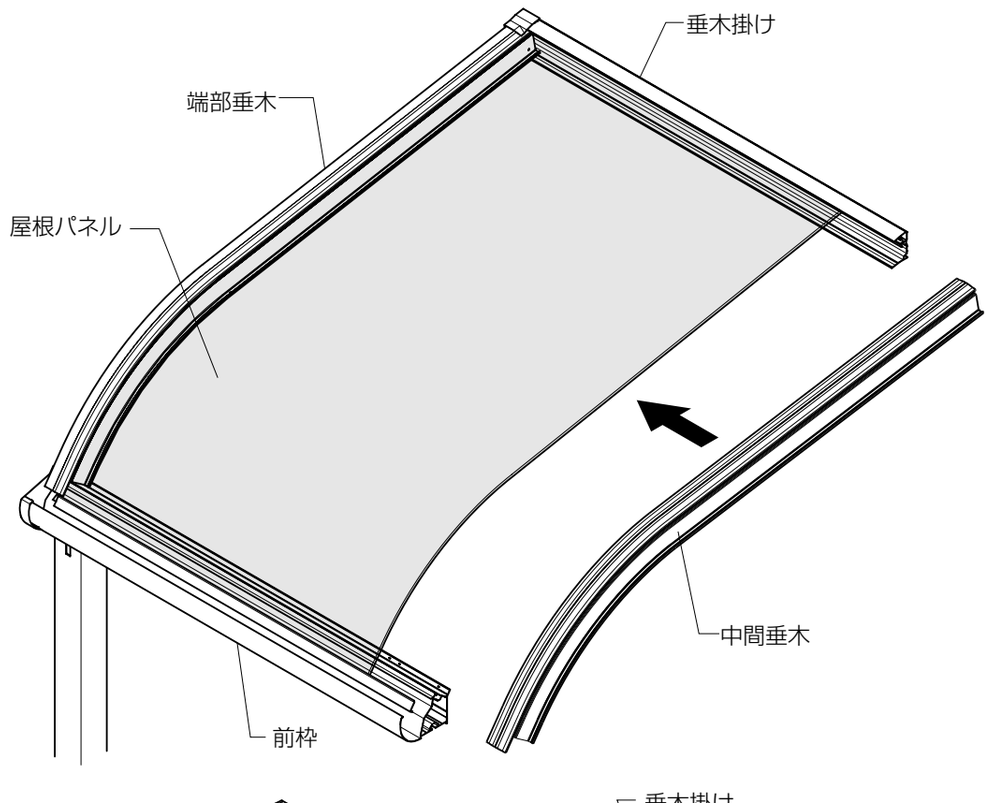
7 中間垂木の取付け

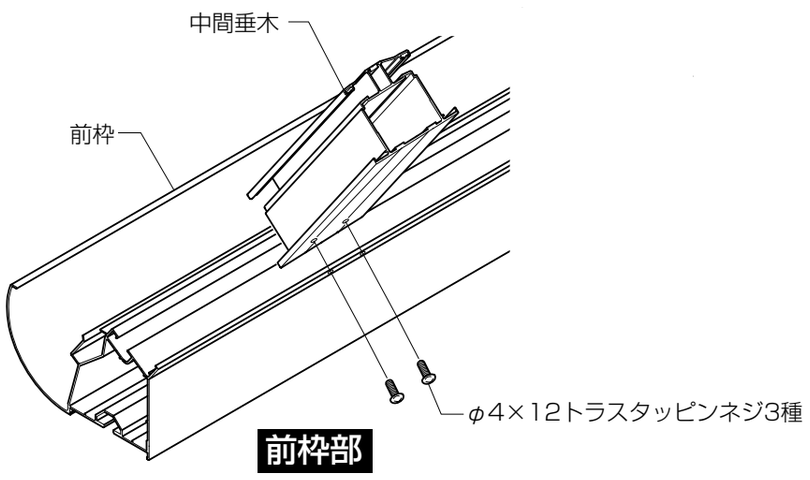
①仮置きしてあった中間垂木を垂木掛け側から前枠に向かってパネルに挿入しながら取付けます。

⚠注　意

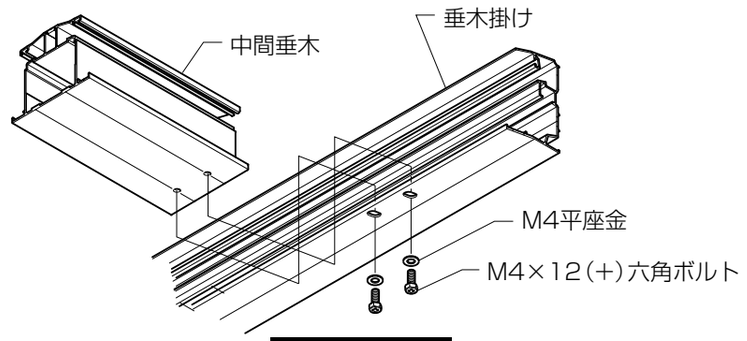
●屋根の取付けはパネルののみこみが左右均等になるようにしてください。





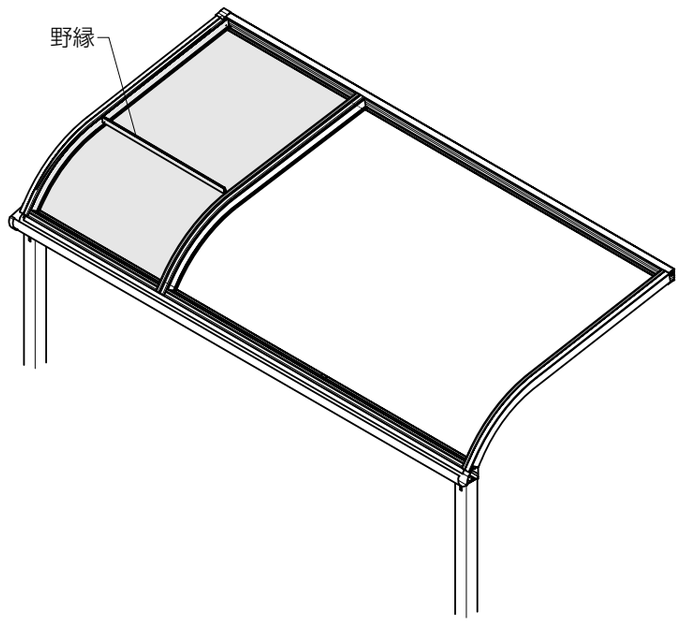


前枠部



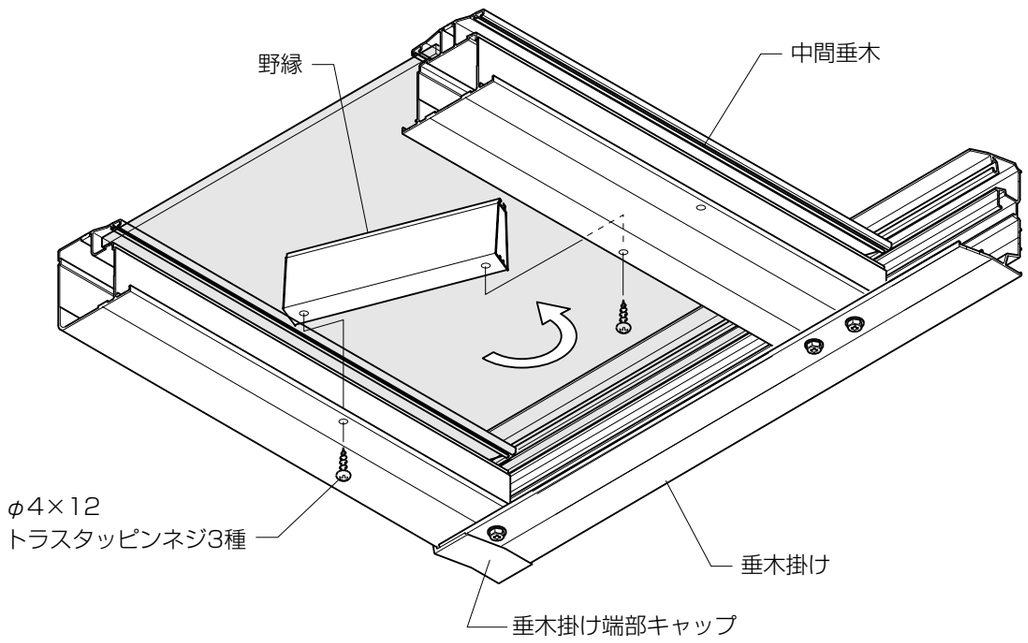
垂木掛け部

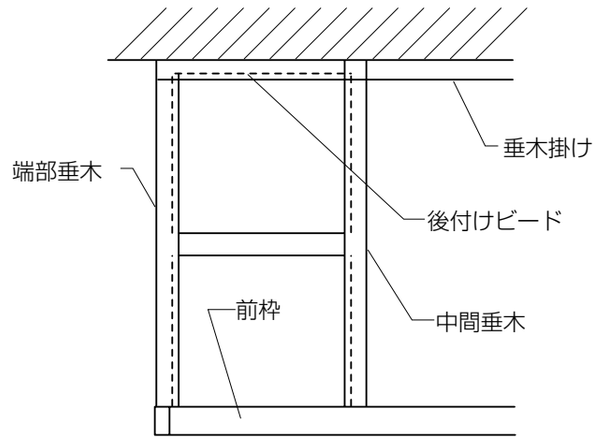
8 野縁の取付け

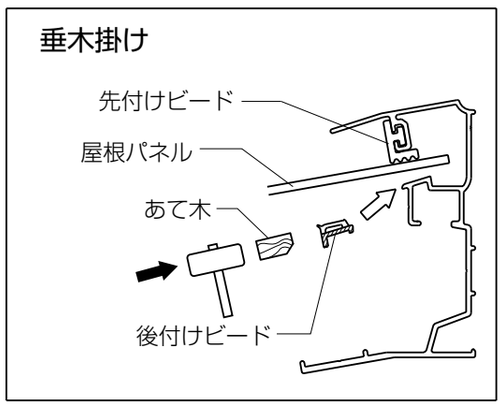


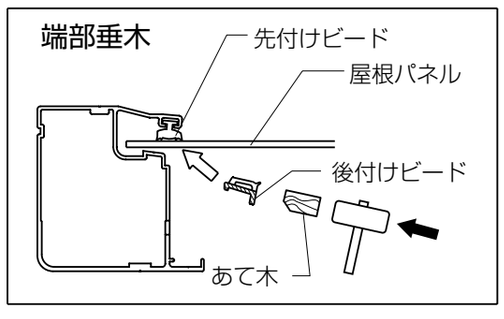
8 野縁の取付け

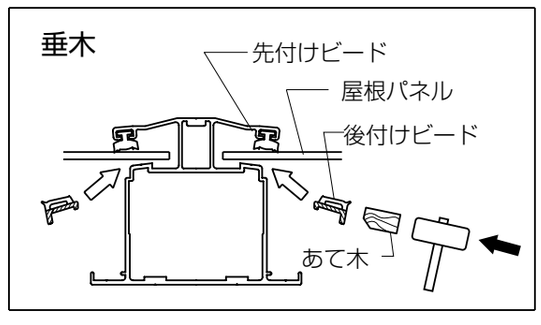
①野縁を屋根パネルと垂木のフィンとの間で、回転させてセットし、ネジ止めしてください。
②野縁を取付け後、垂木掛け、垂木に後付ビートをあて木を使い、取付けてください。



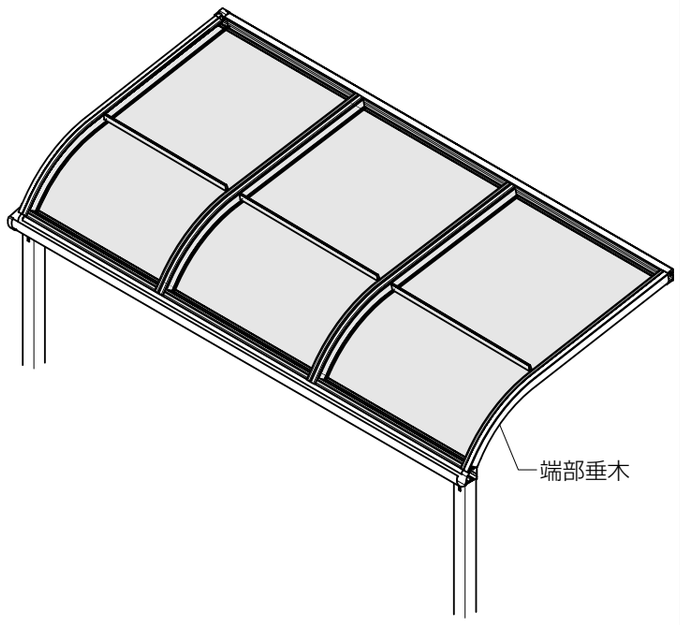






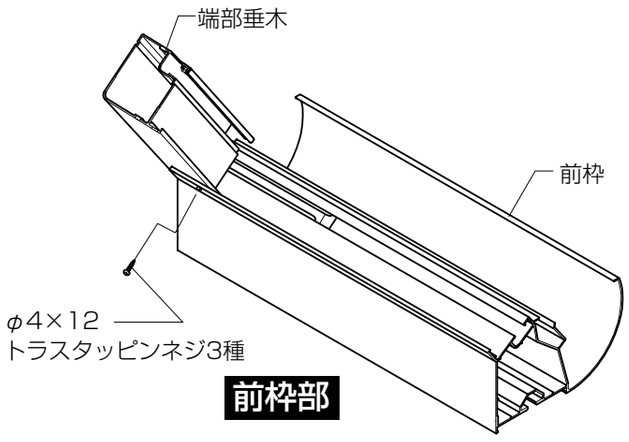


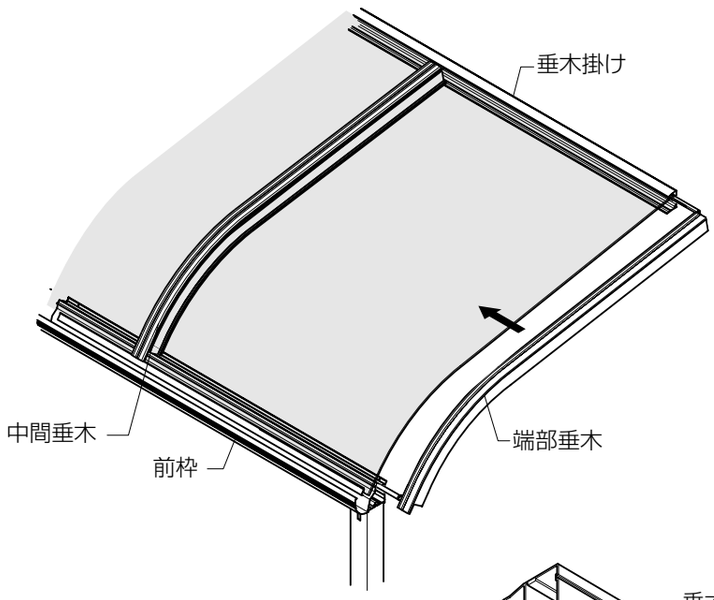
9 端部屋根パネルおよび端部垂木の取付け

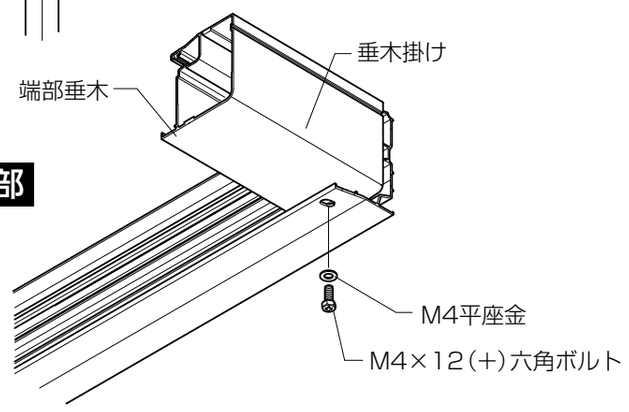


9 端部屋根パネルおよび端部垂木の取付け

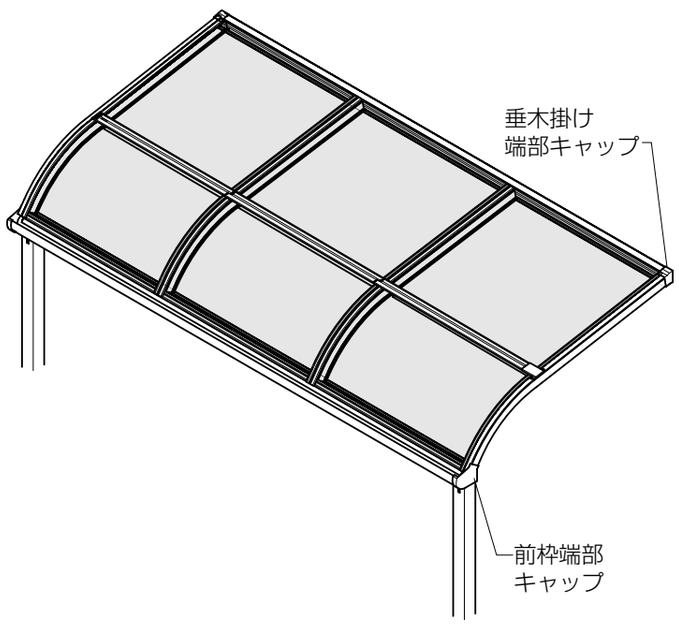
①端部垂木をずらし、屋根パネルをスライドし取り付けた後、図のように端部垂木を取付けてください。
②取付け後、垂木掛けに取付けたスライド部品用のネジを外し、穴ふさぎシールを貼ってください。
③端部垂木を取付け後、野縁を取付け、垂木掛け、垂木に後付ビートを入れてください。
※端部垂木をスライドする際は、無理な力をかけないでください。部品が破損するおそれがあります。





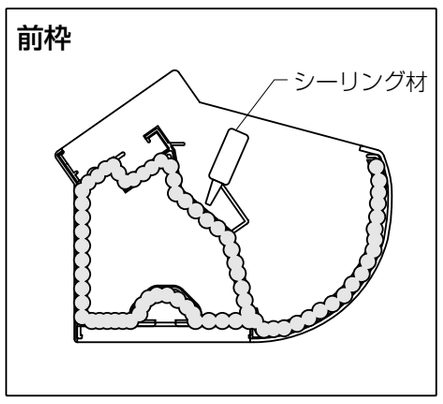


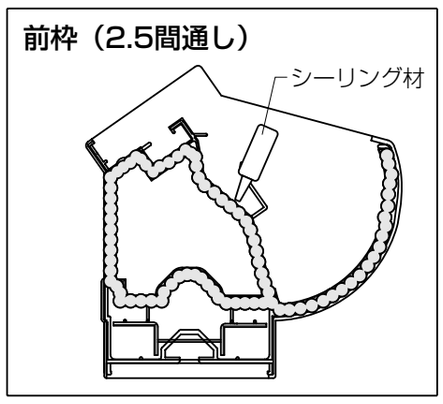
10 キャップの取付け②



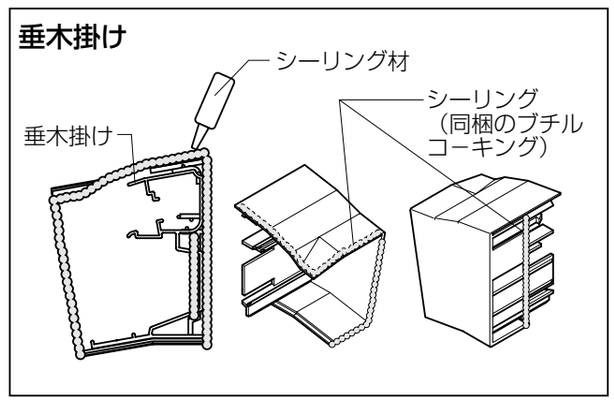
10 キャップの取付け②

①前枠端部キャップにシーリング（同梱のブチルコーキング）した後、キャップを取付けてください。

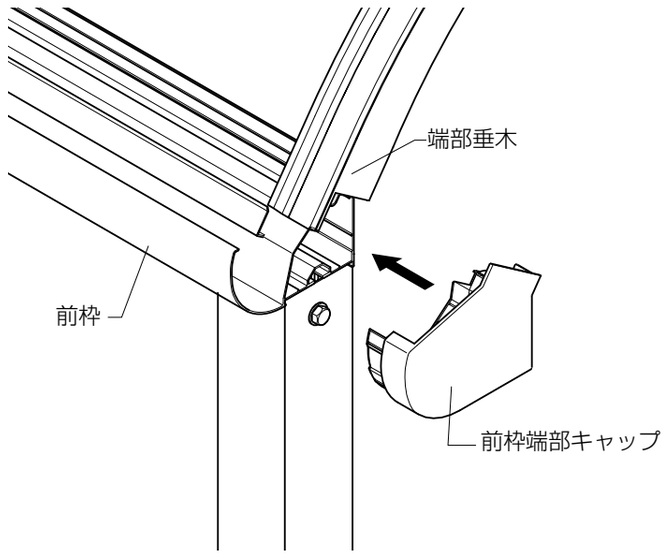


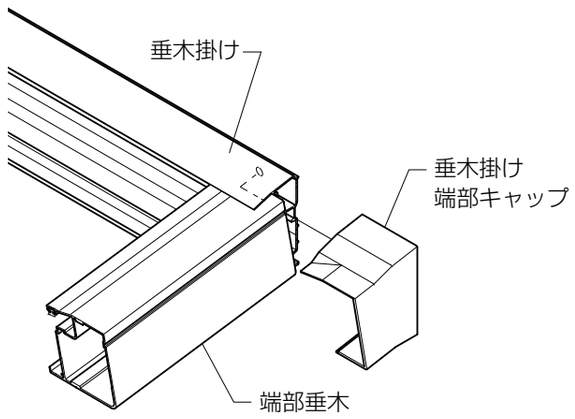


②垂木掛け端部キャップにシーリング（同梱のブチルコーキング）した後、キャップを取付けてください。

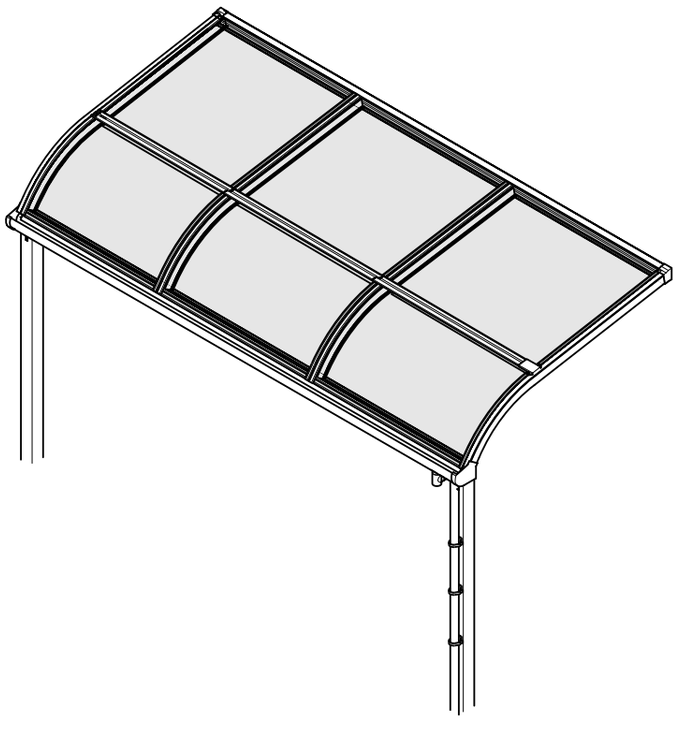


⚠ 注　意
●指定の個所に必ずシーリングしてください。



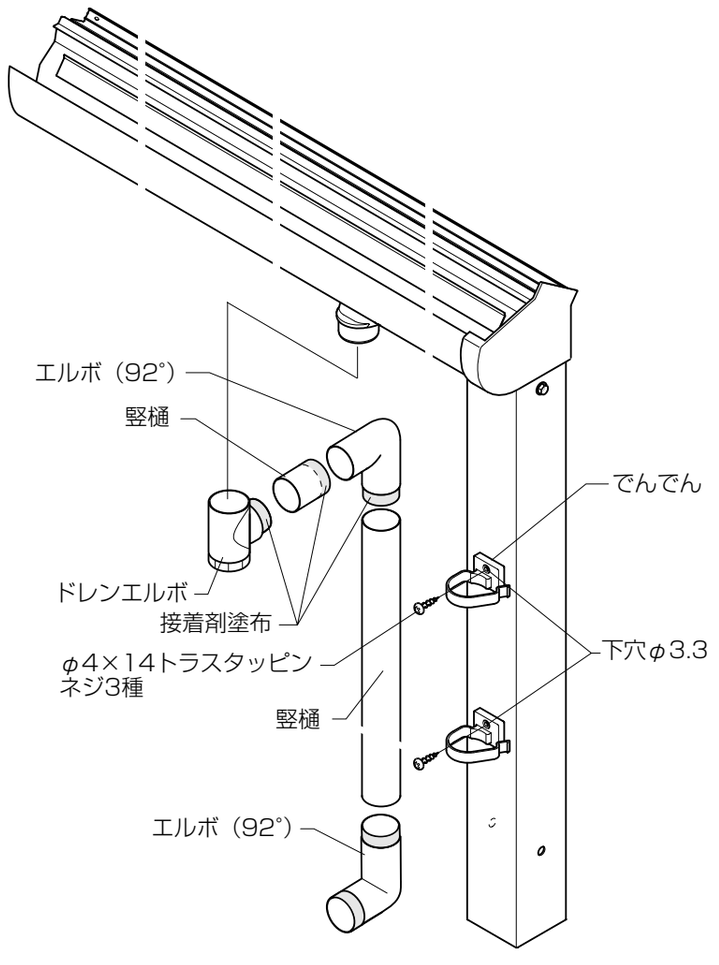


11 雨樋の取付け

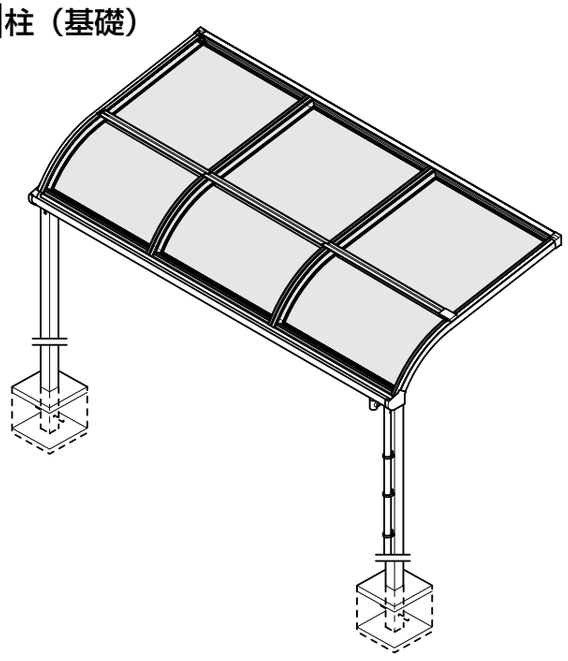


11 雨樋の取付け

①図のように取付けてください。

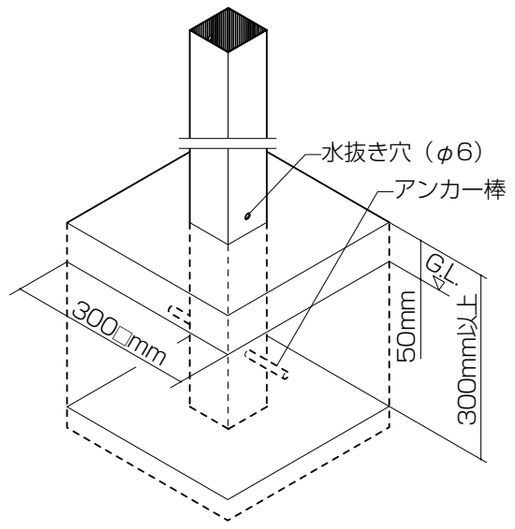


12 柱（基礎）



12 柱（基礎）

①図の寸法で、柱埋込み穴をコンクリート（またはモルタル）で埋めてください。
②柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。



⚠ 注　意

- ●地下埋設物（給水管など）に影響をおよぼさないようにしてください。
- ●コンクリート（またはモルタル）に急結材は絶対に使用しないでください。
- ●海砂はアルミを腐食させるおそれがありますので、水洗いしたものをご使用ください。

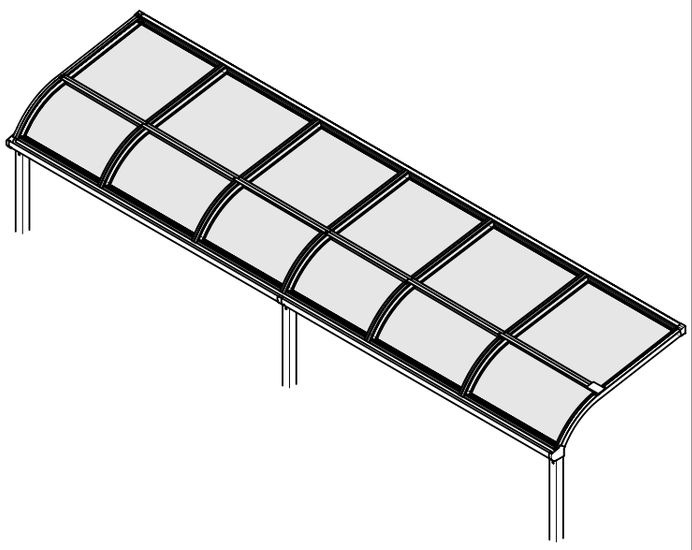
■連棟タイプの場合 1

※連棟時の間口部材（前枠・垂木掛け）の切り詰めは不要です。

1 前枠の加工

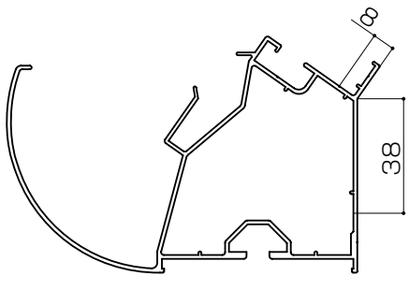
2 垂木掛けの取付け… ①前枠スリーブの取付け

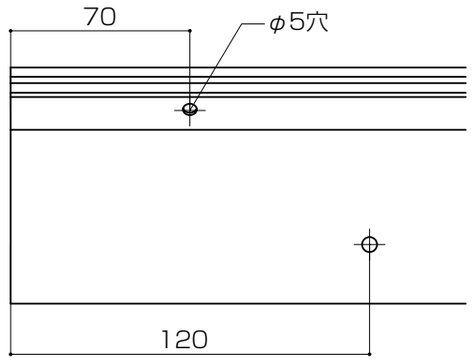
②前枠ジョイントカバーの取付け



1 前枠の加工

①前枠の連結する側の端部に図のようにφ5の穴をあけてください。



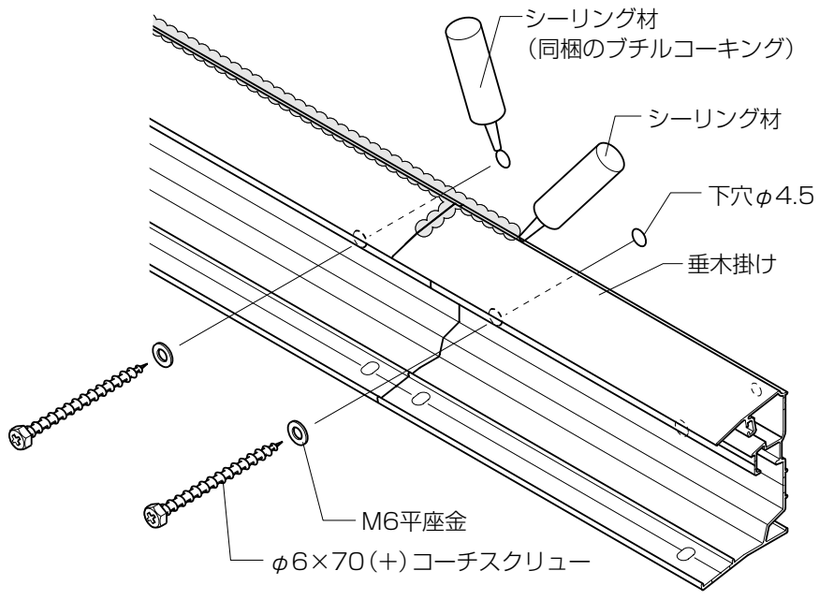


2 垂木掛けの取付け

①垂木掛けの躯体取付け穴（φ6.5）を柱や間柱など躯体構造位置に合わせてあけ直した後取付けてください。
※元のあいていた穴は穴ふさぎシールを使ってふさいでください。

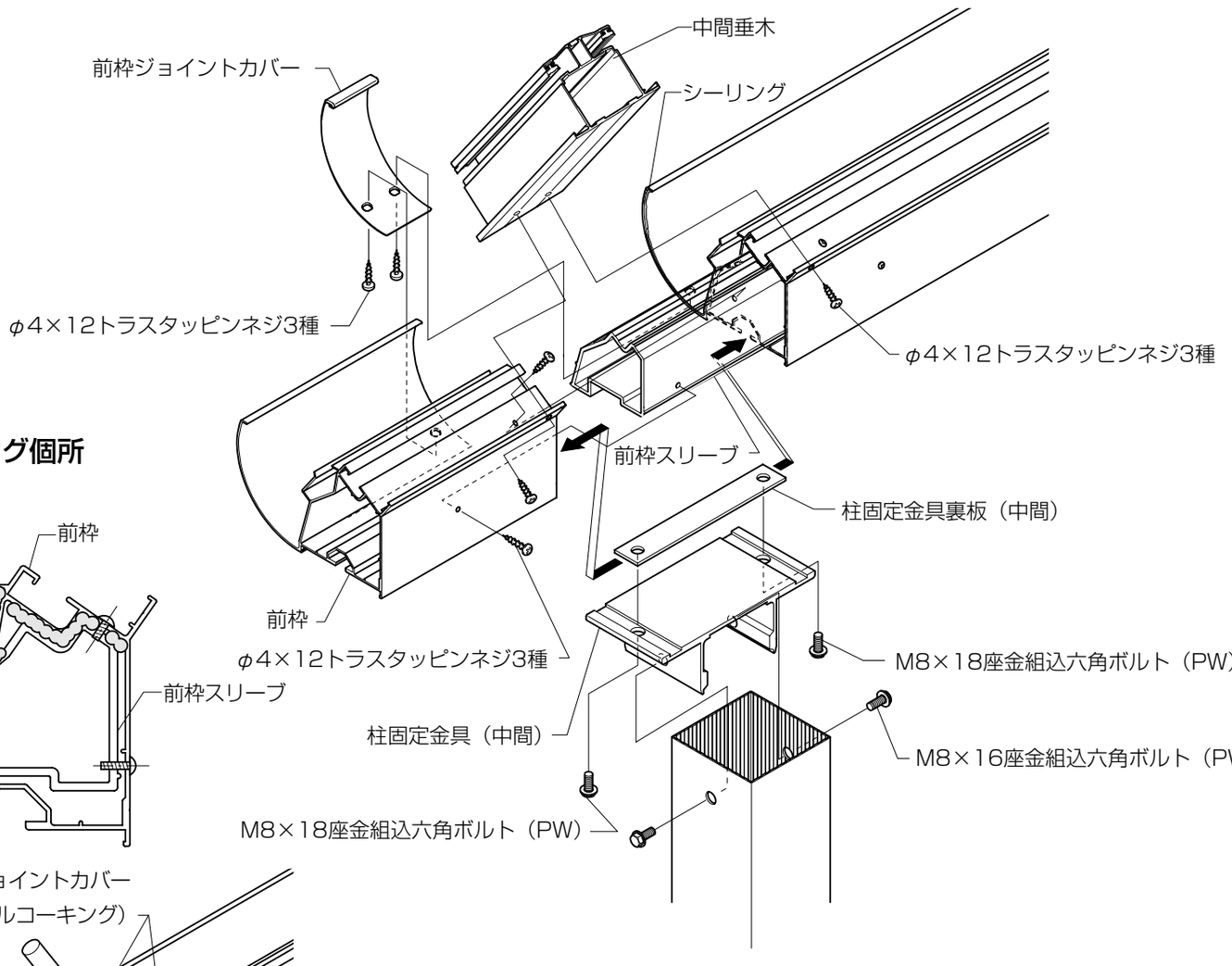
⚠ 注　意

- ●指定の個所に必ずシーリングしてください。

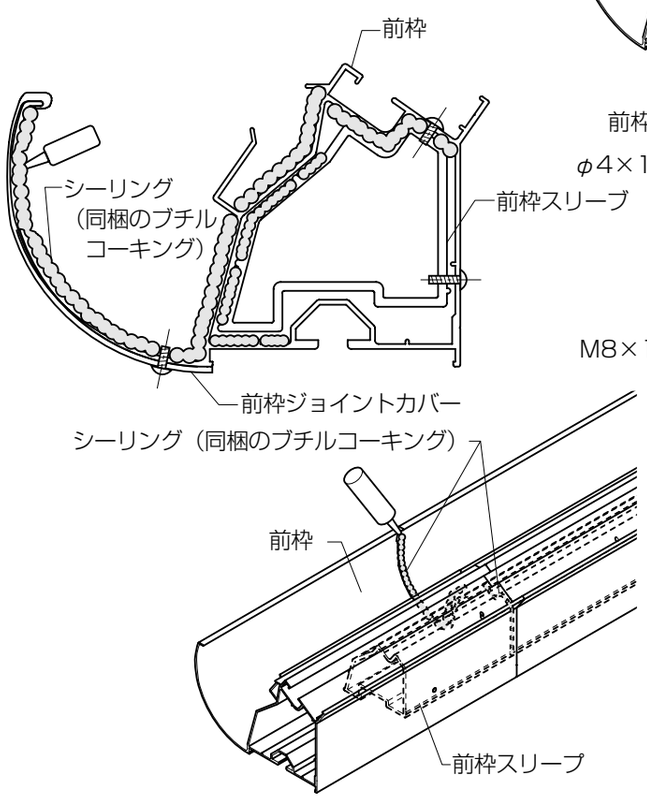


3 前枠連結部の組立て

①前枠を前枠スリーブにネジ止めします。
②前枠ジョイントカバーをネジ止めします。
※連結部には垂木と柱が取付きます。
※連結の際、柱は連結部への取付けを基本としますが、止む得ない場合は、移動しても差し支えありません。



※ジョイント部シーリング個所



⚠ 注　意

- ●指定の個所に必ずシーリングしてください。

■連棟タイプの場合2（2.5間通しを使った連棟の場合）

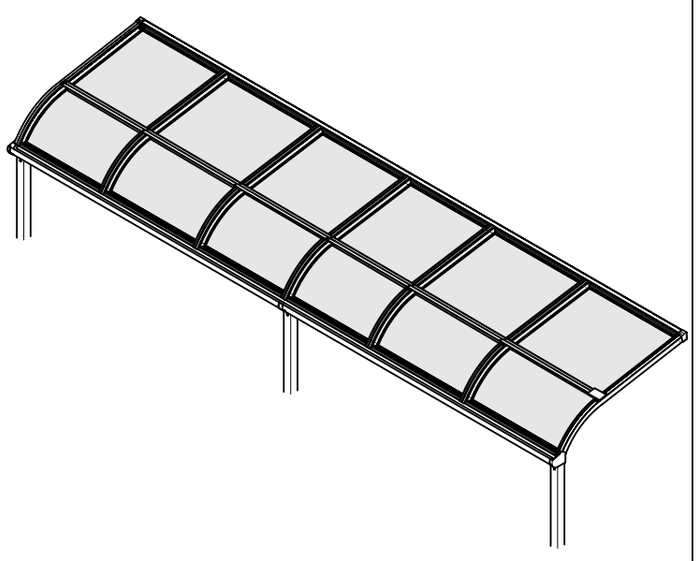
※連棟時の間口部材（前枠・垂木掛け）の切り詰めは不要です。
※前枠の加工・垂木掛けの取付けについては、「連棟タイプの場合1」と同じです。

1 前枠の加工

2 前枠の組立て

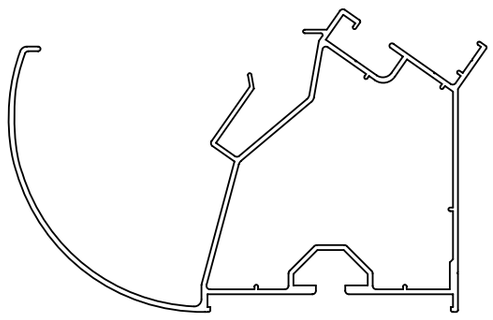
3 垂木掛けの取付け

4 前枠連結部の組立て… ①前枠スリーブの取付け
②前枠ジョイントカバーの取付け

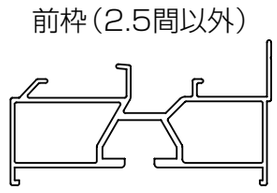


1 前枠の加工

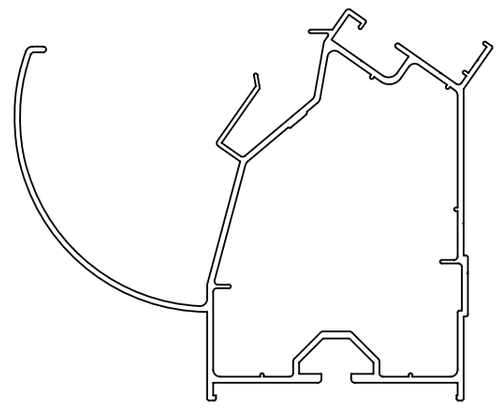
※2.5間通しとの連結の場合、2.5間以外の前枠に前枠スペーサーを取付けます。



前枠（2.5間以外）

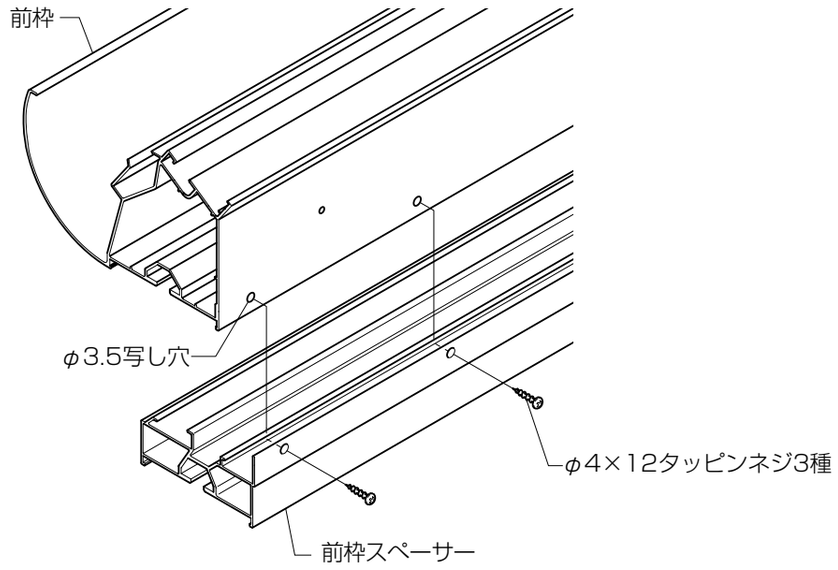


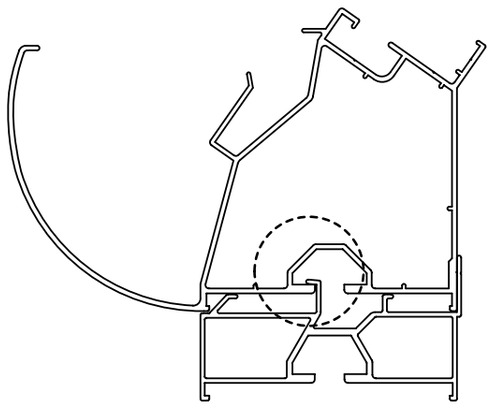
前枠スペーサー



前枠（2.5間通し）

①図のように標準の前枠に前枠スペーサーを合わせ、φ3.3の写し穴をあけ、固定してください。





※フィンが引っ掛かっているとこを確認して、取付けてください。

2 前枠の組立て

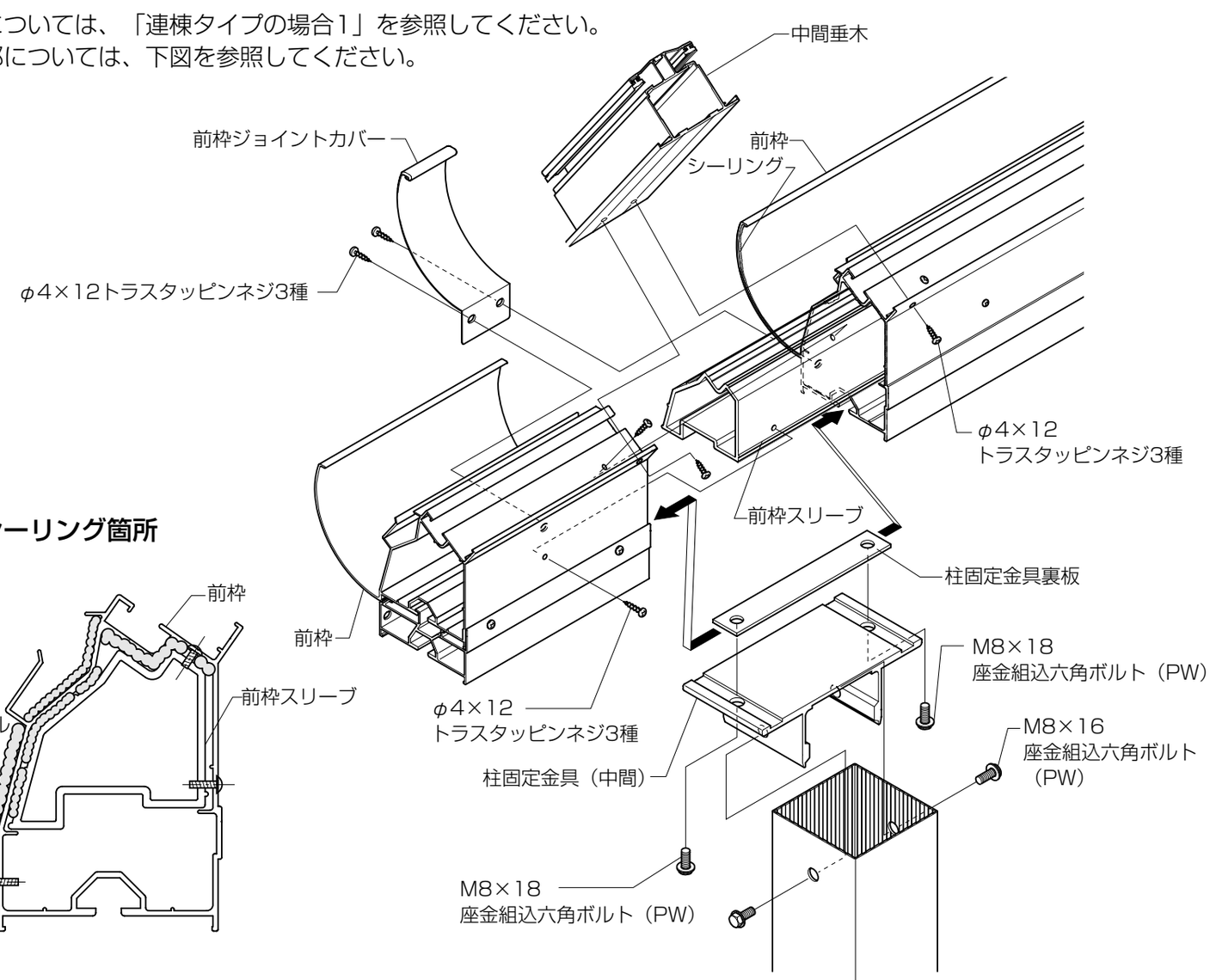
前枠の組立てについては「連棟タイプの場合1」を参照してください。

3 垂木掛けの取付け

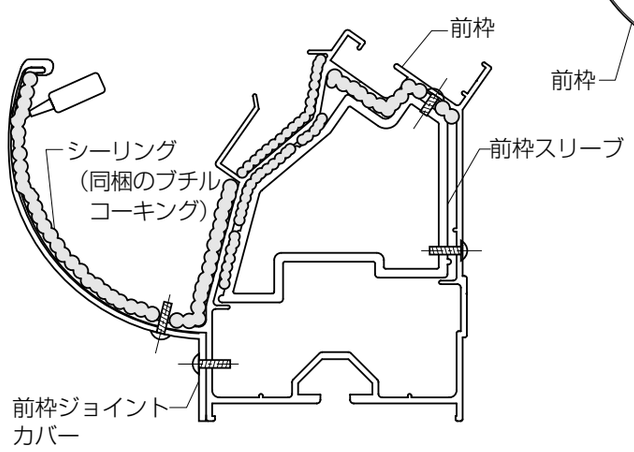
垂木掛けの取付けについては「連棟タイプの場合1」を参照してください。

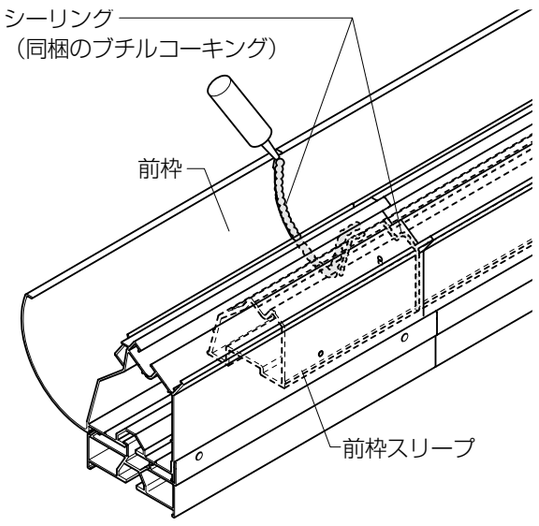
4 連結部の組立て

連結部の取付方法については、「連棟タイプの場合1」を参照してください。
※前枠ジョイント部については、下図を参照してください。



※ジョイント部シーリング箇所

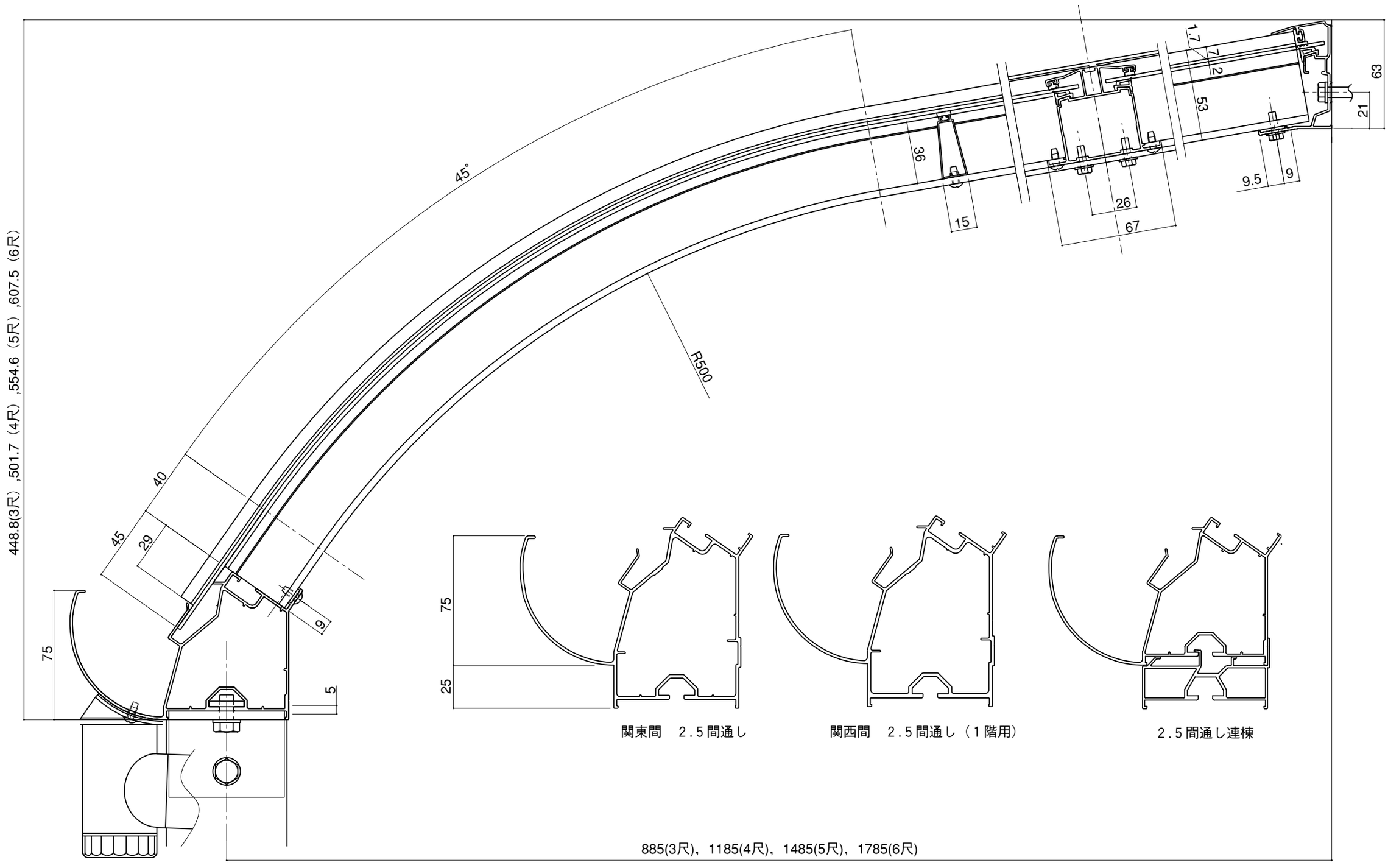




⚠注　意

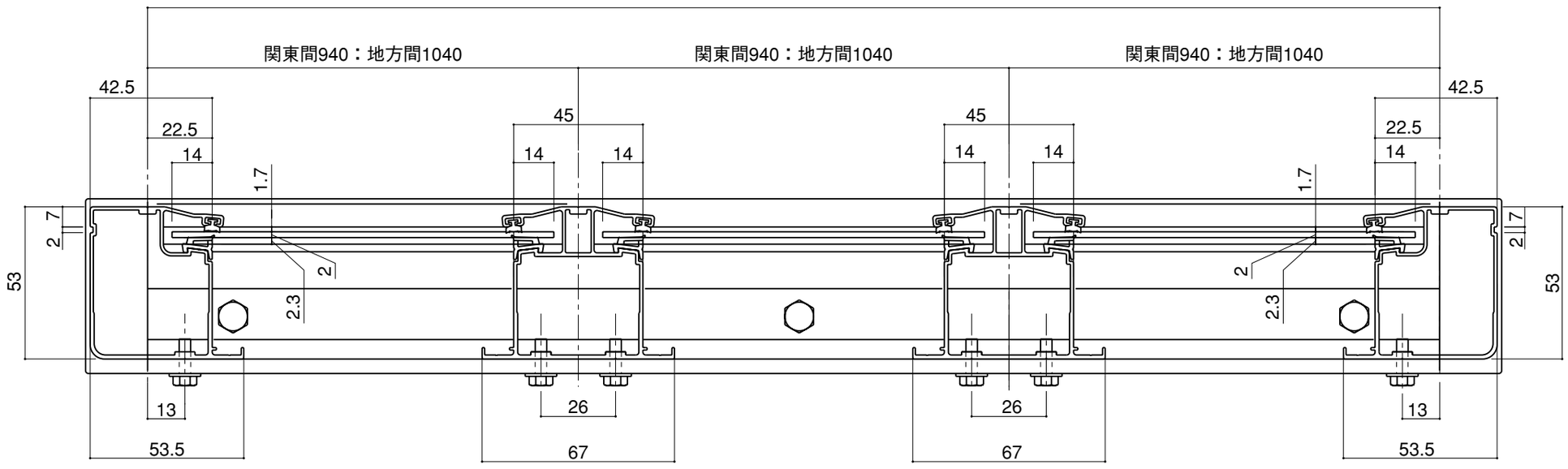
●指定の個所に必ずシーリングしてください。

■納まり図

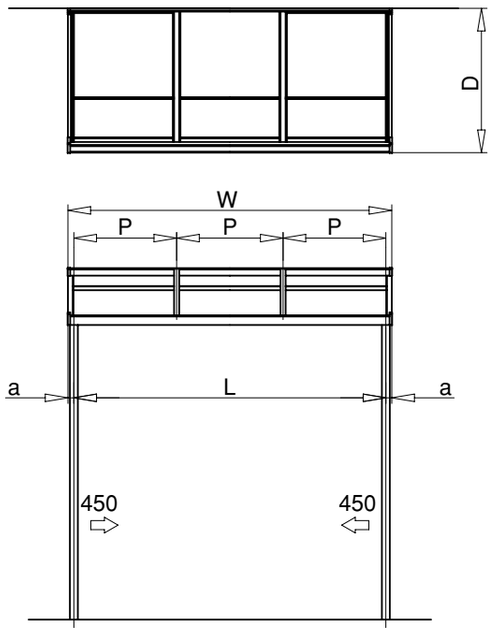


関東間　2.5間通し　　関西間　2.5間通し（1階用）　　2.5間通し連棟

1間（関東間1880：地方間2080）　1．5間（関東間2820：地方間3120）　2間（関東間3760：地方間4160）　2．5間（関東間4700：地方間5200）



●単体



※本図の柱の長さは標準柱を示します。長尺柱は標準柱の十600mmになります。

間口（関東間）

呼称	P	L	W	a
1.0間	940	1850	1920	35
1.5間		2755	2860	52.5
2.0間		3650	3800	75
2.5間		4605	4740	67.5

間口（関西間）

呼称	P	L	W	a
1.0間	1040	2050	2120	35
1.5間		3005	3160	77.5
2.0間		3960	4200	120

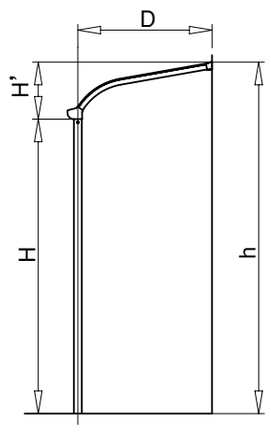
間口（九州四国間）

呼称	P	L	W	a
1.0間	1040	1945	2120	87.5
1.5間		2900	3160	130
2.0間		3855	4200	172.5

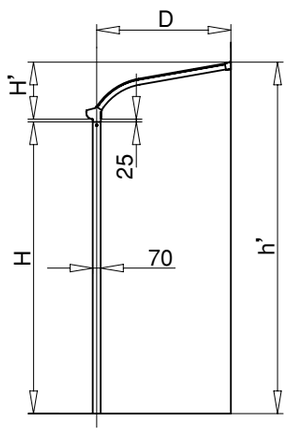
出幅

呼称	D
3尺	885
4尺	1185
5尺	1485
6尺	1785

＜柱を基礎で固定する場合＞（1階設置）



関東間2.5間通し



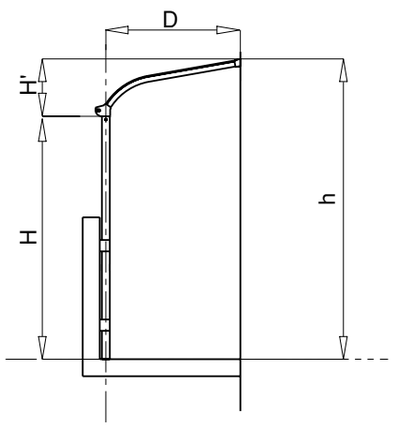
高さ

呼称	H	H'	h
3尺	2400	448.8	2848.8
4尺		501.7	2901.7
5尺		554.6	2954.6
6尺		607.5	3007.5

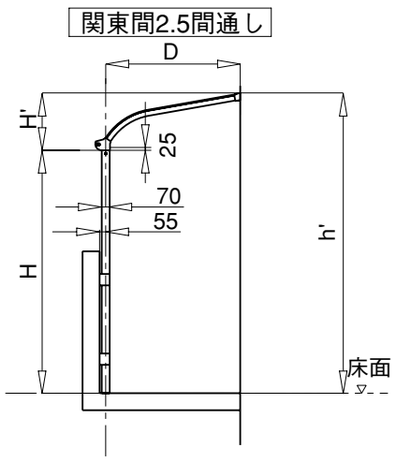
*h' 関東間2.5間通しの場合は、h+25

※本図の柱の長さは標準柱を示します。長尺柱は標準柱の十600mmになります。

＜柱を造り付けバルコニーに固定する場合＞



関東間2.5間通し



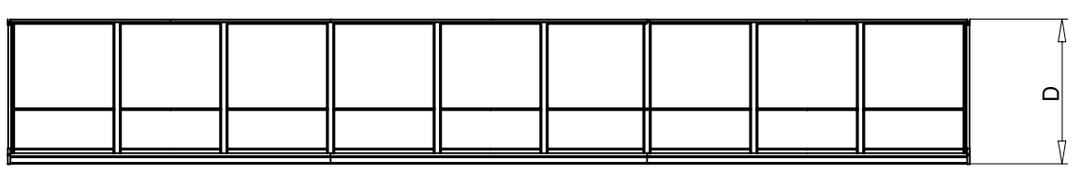
高さ

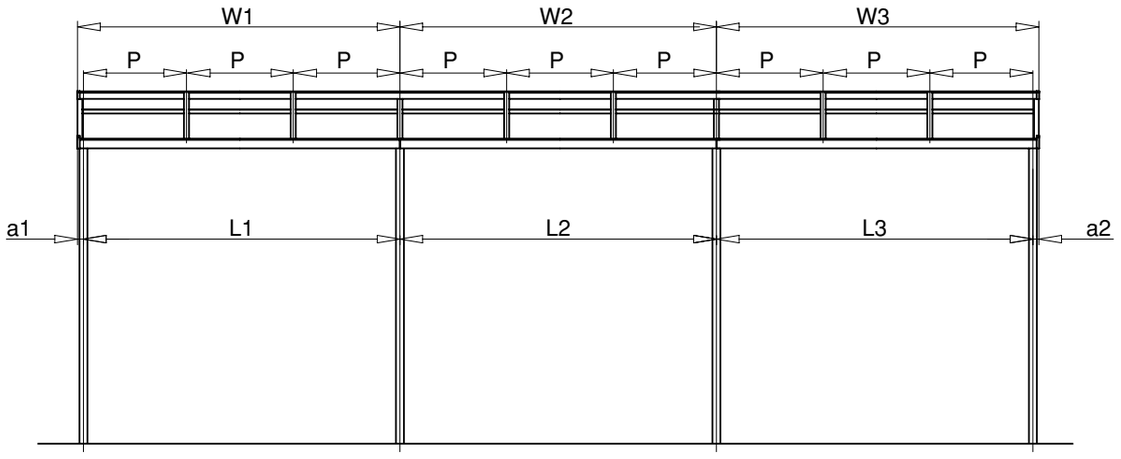
呼称	H	H'	h
3尺	2050	448.8	2498.8
4尺		501.7	2551.7
5尺		554.6	2604.6
6尺		607.5	2657.5

*h' 関東間2.5間通しの場合は、h+25

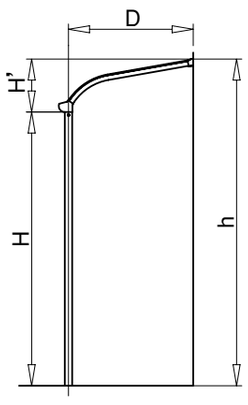
※本図の柱の長さは標準柱を示します。長尺柱は標準柱の十450mmになります。

●連棟

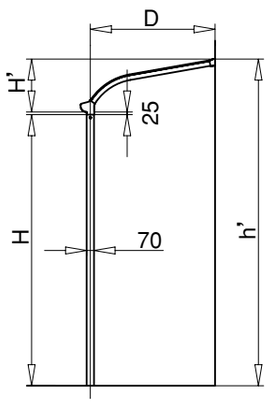




＜柱を基礎で固定する場合＞（1階設置）



関東間4.5,5.0間通し



高さ

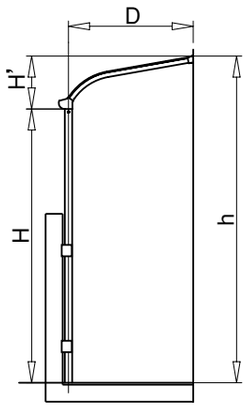
呼称	H	H'	h
3尺	2400	448.8	2848.8
4尺		501.7	2901.7
5尺		554.6	2954.6
6尺		607.5	3007.5

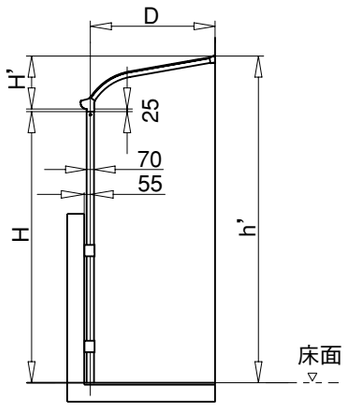
*h' 関東間4.5,5.0間通しの場合は、h+25

※本図の柱の長さは標準柱を示します。長尺柱は標準柱の十600mmになります。

＜柱を造り付けバルコニーに固定する場合＞

関東間4.5,5.0間通し





高さ

呼称	H	H'	h
3尺	2050	448.8	2498.8
4尺		501.7	2551.7
5尺		554.6	2604.6
6尺		607.5	2657.5

*h' 関東間4.5,5.0間通しの場合は、h+25

※本図の柱の長さは標準柱を示します。長尺柱は標準柱の十450mmになります。

間口（関東間）

呼称	P	L1	L2	L3	W1	W2	W3	a1	a2
3.0間（1.5+1.5）	940	2755	2755	—	2840	2840	—	85	85
3.5間（1.5+2.0）		2755	3650	—	2840	3780	—	85	130
4.0間（2.0+2.0）		3650	3650	—	3780	3780	—	130	130
4.5間（2.0+2.5）		3650	4605	—	3780	4720	—	130	115
5.0間（2.5+2.5）		4605	4605	—	4720	4720	—	115	115

間口（関西間）

呼称	P	L1	L2	L3	W1	W2	W3	a1	a2
2.5間（1.0+1.5）	1040	2050	3005	—	2100	3140	—	50	135
3.0間（1.5+1.5）		3005	3005	—	3140	3140	—	135	135
3.5間（1.5+2.0）		3005	3960	—	3140	4180	—	135	220
4.0間（2.0+2.0）		3960	3960	—	4180	4180	—	220	220
4.5間（1.5+1.5+1.5）		3005	3005	3005	3140	3120	3140	192.5	192.5
5.0間（1.5+2.0+1.5）		3005	3960	3005	3140	4160	3140	235	235

間口（九州 四国間）

呼称	P	L1	L2	L3	W1	W2	W3	a1	a2
2.5間（1.0+1.5）	1040	1945	2900	—	2100	3140	—	155	240
3.0間（1.5+1.5）		2900	2900	—	3140	3140	—	240	240
3.5間（1.5+2.0）		2900	3855	—	3140	4180	—	240	325
4.0間（2.0+2.0）		3855	3855	—	4180	4180	—	325	325
4.5間（1.5+1.5+1.5）		2900	2900	2900	3140	3120	3140	350	350
5.0間（1.5+2.0+1.5）		2900	3855	2900	3140	4160	3140	392.5	392.5

出幅

呼称	D
3尺	885
4尺	1185
5尺	1485
6尺	1785

■梱包明細書

1 主柱セット（テラス用）

名　　称	員 数	
	標準	長尺
主柱	2	2
柱固定金具（端部）	2	2
アンカー棒	2	2
M8×16座金組込六角ボルト（PW）	6	6
取扱説明書	1	1

2 中間柱セット（テラス用）

名　　称	員 数	
	標準	長尺
中間柱	1	1
柱固定金具（中間）	1	1
柱固定金具裏板（中間）	1	1
アンカー棒	1	1
M8×16座金組込六角ボルト（PW）	4	4

3 主柱セット（造付屋根用）

名　　称	員 数	
	標準	長尺
主柱	2	2
柱固定金具（端部）	2	2
M8×16座金組込六角ボルト（PW）	6	6
取扱説明書	1	1

4 中間柱セット（造付屋根用）

名　　称	員 数	
	標準	長尺
中間柱	1	1
柱固定金具（中間）	1	1
柱固定金具裏板（中間）	1	1
M8×16座金組込六角ボルト（PW）	4	4

5 造付屋根用部品セット

名　　称	員 数	
	1本用	2本用
柱壁付固定部品	2	4
柱キャップ	1	2
M6×85六角ボルト	2	4
M6平座金	4	8
M6バネ座金	2	4
M6袋ナット	2	4
φ4×14ナベタッピンネジ3種	1	2
φ6×70（+）コーチスクリュー	4	8
φ5×12トラスタッピンネジ	2	4

6 長さセット　下止め仕様（関東間、関西・九州四国間）

名　　称	員 数			
	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間通し ※
前枠（1.0～2.0間用）	1	1	1	ー
前枠（2.5間通し用）	ー	ー	ー	1
垂木掛け	1	1	1	1
後付けビード	2	3	4	5

※　関東間のみです。

7 野縁セット（関東間　関西・九州四国間）

名　　称	員 数							
	1.0間		1.5間		2.0間		2.5間通し　※3	
	3,4尺	5,6尺 ※1	3,4尺	5,6尺	3,4尺 ※2	5,6尺	3,4尺	5,6尺
野縁	2	4	3	6	4	8	5	10

※1,※2は共通梱包です。
※3　関東間のみです。

8 前枠スペーサーセット（関東間のみ）

名　　称	員 数		
	1.0間	1.5間	2.0間
前枠スペーサー	1	1	1
φ4×12トラスタッピンネジ3種	5	5	5

9 端部垂木セット　下止め仕様

名　　称	員 数			
	3尺	4尺	5尺	6尺
端部垂木（右）	1	1	1	1
端部垂木（左）	1	1	1	1
後付ビート	4	4	6	6

10 中間垂木セット　下止め仕様

名　　称	員 数											
	3尺			4尺			5尺			6尺		
	1本入	2本入	3本入	1本入	2本入	3本入	1本入	2本入	3本入	1本入	2本入	3本入
中間垂木	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
後付ビート	4	8	12	4	8	12	6	12	18	6	12	18

11 長さ連結材セット

名　　称	員 数
前枠スリーブ	1

■梱包明細書　つづき

12 部品セット　下止め仕様（単体）

名　　称	員 数							
	1.0間		1.5間		2.0間		2.5間通し ※	
	3,4尺	5,6尺	3,4尺	5,6尺	3,4尺	5,6尺	3,4尺	5,6尺
前枠端部キャップ（右）	1	1	1	1	1	1	ー	ー
前枠端部キャップ（左）	1	1	1	1	1	1	ー	ー
前枠端部キャップ2.5間専用（右）	ー	ー	ー	ー	ー	ー	1	1
前枠端部キャップ2.5間専用（左）	ー	ー	ー	ー	ー	ー	1	1
垂木掛け端部キャップ（右）	1	1	1	1	1	1	1	1
垂木掛け端部キャップ（左）	1	1	1	1	1	1	1	1
前枠スライド部品	1	1	1	1	1	1	1	1
垂木掛けスライド部品	1	1	1	1	1	1	1	1
横材端部固定部品	ー	1	ー	1	ー	1	ー	1
横材スライド部品	ー	1	ー	1	ー	1	ー	1
穴ふさぎシール	4	4	4	4	4	4	4	4
M4×12（十）六角ボルト	4	4	6	6	8	8	10	10
M4平座金	4	4	6	6	8	8	10	10
φ6×70（十）コーチスクリュー	3	3	4	4	5	5	6	6
M6平座金	3	3	4	4	5	5	6	6
φ4×12トラスタッピンネジ3種	8	13	13	19	17	26	21	32
φ4×12ナベタッピンネジ3種	4	4	4	4	4	4	4	4
ブチルコーキング	1	1	1	1	1	1	1	1
取付説明書	1	1	1	1	1	1	1	1

※　関東間のみです。

13 部品セット　下止め仕様（連棟）

名　　称	員 数							
	1.0間		1.5間		2.0間		2.5間通し ※1	
	3,4尺	5,6尺	3,4尺	5,6尺	3,4尺	5,6尺	3,4尺	5,6尺
前枠ジョイントカバー	1	1	1	1	1	1	ー	ー
前枠ジョイントカバー2.5間専用	ー	ー	ー	ー	ー	ー	1	1
穴ふさぎシール	4	4	4	4	4	4	4	4
M4×12（十）六角ボルト	4	4	6	6	8	8	10	10
M4平座金	4	4	6	6	8	8	10	10
φ6×70（十）コーチスクリュー	3	3	4	4	5	5	6	6
M6平座金	3	3	4	4	5	5	6	6
φ4×12トラスタッピンネジ3種	15	19	19	26	24	32	28	39
ブチルコーキング	1	1	1	1	1	1	1	1

※1　関東間のみです。

14 竪樋セット

名　　称	員 数		
	L=3000	L=3600	L=4000
竪樋（φ40）	1	ー	ー
竪樋（φ40）	ー	1	ー
竪樋（φ40）	ー	ー	1

15 雨樋部品セット

名　　称	員 数
雨樋アタッチメント	1
穴ふさぎキャップ	1
雨樋パッキン	2
エルボ（92°）	2
ドレンエルボ	1
でんでん	4
接着剤	1
φ4×14トラスタッピンネジ3種	8

16 アクリル・ポリカーボネート・熱線遮断ポリカーボネート屋根パネルセット

名　　称	員 数											
	3尺			4尺			5尺			6尺		
	2枚入	3枚入	4枚入	2枚入	3枚入	4枚入	2枚入	3枚入	4枚入	2枚入	3枚入	4枚入
パネル3尺 （関東間／1029.5×924　t=2.0） （関西　九州・四国間／1029.5×1024　t=2.0）	2	3	4	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
パネル4尺 （関東間／1334×924　t=2.0） （関西　九州・四国間／1334×1024　t=2.0）	ー	ー	ー	2	3	4	ー	ー	ー	ー	ー	ー
パネル5尺 （関東間／1638.5×924　t=2.0） （関西　九州・四国間／1638.5×1024　t=2.0）	ー	ー	ー	ー	ー	ー	2	3	4	ー	ー	ー
パネル6尺 （関東間／1943.5×924　t=2.0） （関西　九州・四国間／1943.5×1024　t=2.0）	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	2	3	4

取説コード
Z108
200108A_1007